Canon

Satera

MF7450N/MF7350N/MF7330

リモートUIガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

下記はオプションに添付されている取扱説明書も含んでいます。購入された製品、システム構成によっては、お手元にない取扱説明書（ご利用になれない機能）があります。

 このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

 このマークが付いているガイドは、付属のCD-ROM に収められています。

- **基本的な操作、便利な使いかたを早く簡単に知るには** → **かんたん操作ガイド**
- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには** → **ユーザーズガイド**
- **コピーの使いかたを知るには** → **コピーガイド**
- **送信機能／ファクスの使いかたを知るには** → **送信／ファクスガイド**
- **CARPS2 プリンタ機能の使いかたを知るには** → **CARPS2 プリンタガイド**
- **リモート UI の使いかたを知るには** → **リモート UI ガイド（本書）**
- **ネットワークとの接続や設定について知るには** → **ネットワークガイド**
- **Network ScanGearドライバのインストールのしかたなどについて知るには** → **Network ScanGear ユーザーズガイド**
- **プリンタドライバのインストールのしかたなどについて知るには** → **CARPS2 ソフトウェアガイド**
- **ファクスドライバのインストールのしかたなどについて知るには** → **ファクスドライバガイド**

●PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムにAdobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
●本書は、改良のため画面等は予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
●本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。

本書の構成について

第1章 リモートUIを使用する

必ずお読みください

第2章 いろいろな機能の確認／管理

第3章 使いかたにあわせた設定

第4章 付録

用語集と索引を掲載しています。

目次

第 4 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン Satera MF7450N/MF7350N/MF7330 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

注意　取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンについて

本書では、キー名称、ボタン名称を以下のように表しています。

- タッチパネルディスプレイ上のキー：[キー名称]

  例：　[システム管理設定]
  　　　[閉じる]

- 操作パネル上のキー：<キーアイコン>＋（キー名称）

  例：　(初期設定/登録)
  　　　0〜9(テンキー)

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

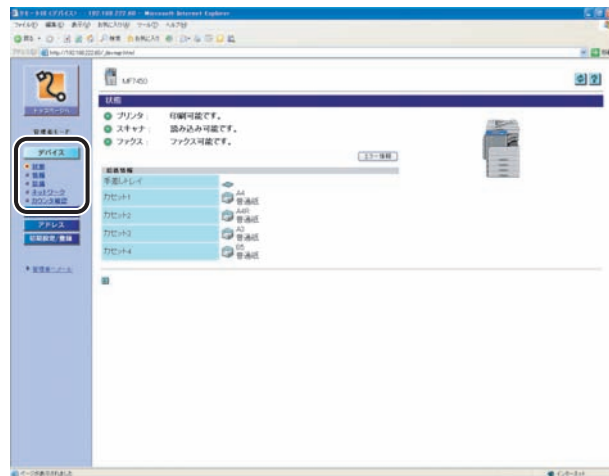
  例：　[ジョブ]
  　　　[OK]

画面について

本書で使われている画面は、特にお断りがない限り Satera MF7450N にオプションのフィニッシャー U2、フィニッシャー用追加トレイ・C1、両面ユニット・B1、3 段カセットユニット・AF1 が装着され、シンプル SEND 拡張キットを有効にした場合のものです。

アクセサリ、オプションの組み合わせによって使用できない機能に関しては、Web ブラウザ上には表示されませんが、ご了承ください。

操作時にクリックするボタンの場所は、（丸）で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

1 **［デバイス］をクリックしたあと、表示されるメニューから表示する項目を選択します。**

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版：	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版：	Windows Me
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows Server® 2003 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft® Windows Vista™ 日本語版：	Windows Vista
Microsoft® Windows® operating system：	Windows

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、Satera はキヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows ロゴ、Windows、Windows Server、および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Netscape、NetScape Communicator、Netscape Navigator は、
Netscape Communications Corporation の商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems. Inc. の商標または登録商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

1

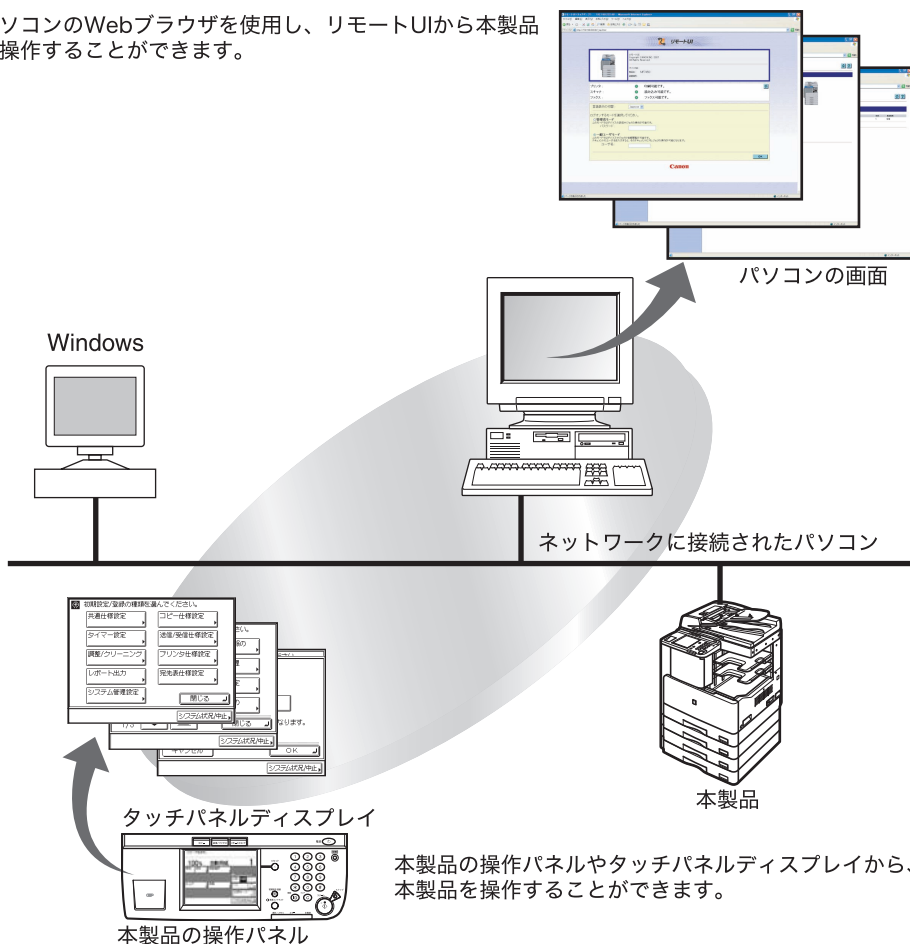
CHAPTER

リモート UI を使用する

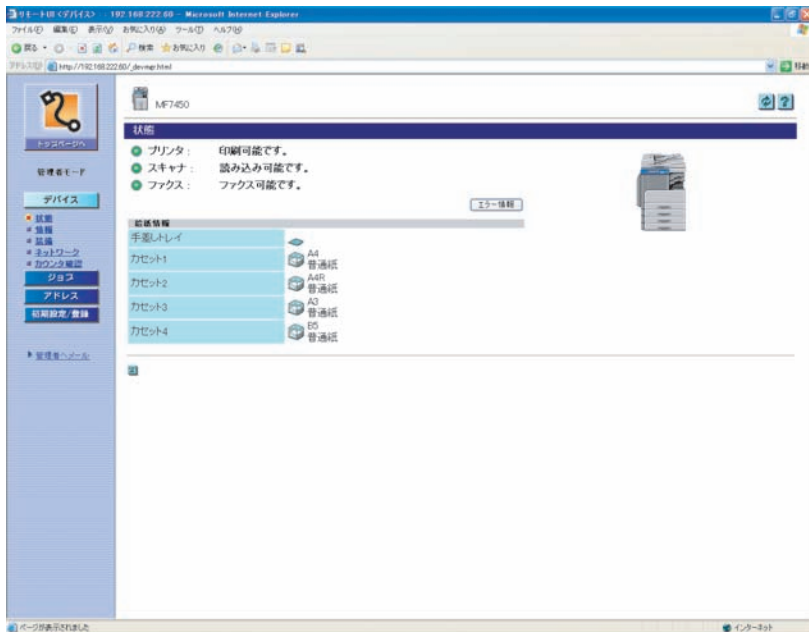
リモート UI の概要と起動するまでの説明をしています。

こんなことができます

リモートUI（User Interface）は、お手持ちのWebブラウザからネットワークを経由して本製品にアクセスし、本製品の状況の確認やジョブの操作、各種設定などができるソフトウェアです。リモートUIを使用するためのソフトウェア（Webサーバ）は本製品に内蔵されているので、Webブラウザ以外のソフトウェアを用意する必要はありません。ネットワーク上で本製品がパソコンとつながっていれば、リモートUIを使うことができます。

本製品のコントロールパネルを使用して、本製品用の IP（Internet Protocol）アドレスを指定し、必要なネットワーク接続を行います。Webブラウザを起動して本製品のIPアドレスを指定すると、リモートUIの画面が表示され、リモートUIを使えるようになります。

■ **ネットワーク上のパソコンから本製品の状況を確認できます**

リモート UI では、ネットワーク経由で本製品にアクセスして、現在の状況や各種情報、ジョブの処理状況などを表示することができます。本製品の前に行かなくても、離れた場所からパソコンで本製品を管理できます。

Web ブラウザで本製品の IP アドレスを指定すると、次のようなリモート UI のトップページが表示されます。

リモート UI の各ページにある左側に並ぶボタンは、リモート UI の各機能をお使いになるときにクリックします。

リモート UI のトップページに戻すときにクリックします。
トップページには、プリンタやスキャナ、ファクスの状況、製品名などが表示されます。

本製品の状況や各種情報、装備情報、設定情報などを表示するときにクリックします。

ジョブ

本製品で処理しているジョブの状況の確認、変更などをするときにクリックします。

アドレス

本製品の宛先表への登録や管理をするときにクリックします。

初期設定/登録

本製品の各種設定を設定／変更するときにクリックします。

表示中の画面を最新の情報に更新するときにクリックします。
リモート UI では、表示中のページは自動的に更新されません。このボタンをクリックして、デバイスに関する最新の情報を取得します。

?	リモート UI のオンラインヘルプを表示します。 リモート UI の詳細な情報を知りたい場合にクリックします。
▲	ページの先頭に移動します。
戻る	前の画面に戻ります。

メモ

- トップページの［表示言語の切替］ドロップダウンリストで言語を選択すると、本製品の操作パネルで使用している言語に関係なく、画面に表示される言語を切り替えることができます。
- 表示言語の切替を行った場合は、表示している言語を入力することが可能ですが、本製品の操作パネルで使用している言語と違う場合は、正しく表示されないことがあります。
- 表示言語の切替を「ON」にすると、入力できる文字を制限されることがあります。

■ 本製品のさまざまな設定や操作をパソコンから行うことができます

リモート UI では、ジョブの中断、各種設定などができます。本製品の操作パネルを使用しなくても、パソコンから本製品の設定をしたり操作したりすることができます。

必要なシステム環境

リモート UI は、以下のシステム環境での動作を保証しています。

■ Windows

- OS（Operating System）
  - ・Microsoft Windows 98/98SE 日本語版
  - ・Microsoft Windows Me 日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP 日本語版
  - ・Microsoft Windows Server 2003 日本語版
  - ・Microsoft Windows Vista 日本語版
- 対応 Web ブラウザ
  - ・Microsoft Internet Explorer 5.01SP1 以降
  - ・Netscape Communicator/Navigator 6.0 以降、ただし Netscape Communicator 6 は除く

■ Macintosh

- OS（Operating System）
  - ・Mac OS 8.6 以降 Mac OS X Classic まで
- 対応 Web ブラウザ
  - ・Microsoft Internet Explorer 5.01SP1 以降

重要 Netscape 6.2 を使用するときは、メニューから［編集］➞［設定］の順に選択し、カテゴリの中の［詳細］にある［キャッシュ］をクリックしたあと、「キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較：」を「セッション毎」または「しない」に設定してください。この設定を行わない場合は、他のブラウザからのアクセス状況が悪化することがあります。

メモ Web サーバなど、上記以外のソフトウェアは必要ありません。（Web サーバは本製品に内蔵されています。）

リモート UI を起動する前に（準備）

リモート UI を起動する前に、以下のことを行ってください。

■ **ネットワーク設定**

システム管理設定（初期設定 / 登録）の「ネットワーク設定」の項目を設定します。また本製品の IP アドレスを確認してください。IP アドレスがわからないときは、システム管理者に相談してください。（➞ネットワークガイド「第 3 章　TCP/IP ネットワークで使用するには」）

■ **リモート UI を「ON」に設定する**

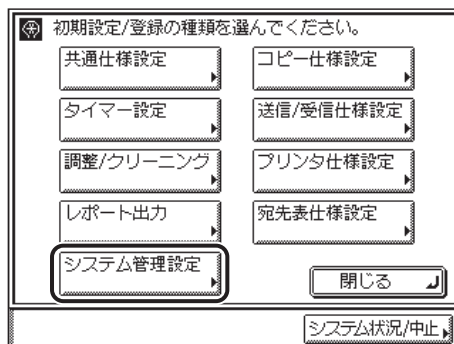
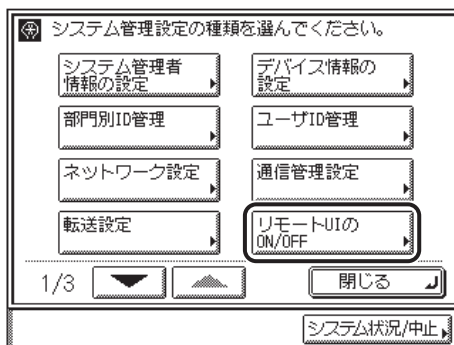
システム管理設定（初期設定 / 登録）の「リモート UI の ON/OFF」を「ON」に設定します。また、システム管理設定（初期設定 / 登録）の「デバイス情報の設定」も行っておくことをおすすめします。

重要

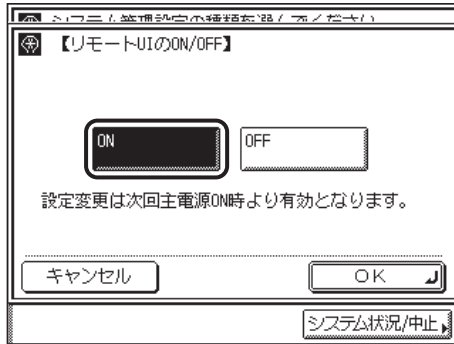
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はシステム環境によって異なりますので、システム管理者に相談してください。）
  - ・Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、[例外]（プロキシを使用しないアドレス）に本製品の IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザで、クッキー（Cookie）、Java Script が利用できるように設定していない場合は、本製品の設定を変更することはできません。
- 本製品の操作パネルを使用しているときは、リモート UI で同じ操作をすることはできません。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。
- Webブラウザから文字を入力する時は、本製品のタッチパネルディスプレイから入力できる文字を使用してください。それ以外の文字を使用すると、本製品で正常に表示／認識されないことがあります。

リモート UI を「ON」に設定する

リモート UI を「ON」にするか「OFF」にするかの設定は、本製品の操作パネルから行います。

1 (初期設定 / 登録) → [システム管理設定] を押します。

2 [リモート UI の ON/OFF] を押します。

システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号が設定されている場合は、[システム管理設定] を押したあとにシステム管理部門 ID と暗証番号を⓪〜⑨(テンキー) で入力して(暗証) を押します。

メモ　目的の画面が表示されていない場合は、[▼] [▲] を押して画面を表示させます。

3 ［ON］を選択します。

❑ ［ON］を選択したあと、［OK］を押します。

メモ　リモート UI を使用したくない場合は [OFF] を選択してください。

4 基本画面に戻るまで［閉じる］を押していきます。

5 本製品の主電源を切り、10 秒後に電源を入れなおします。

重要　リモート UI の ON/OFF の設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあとに有効になります。

リモート UI を起動する

次の操作に従い、リモート UI を起動します。

メモ
- リモート UI の URL については、システム管理者にお問い合わせください。
- 管理者モードでログオンする場合は、以下のように行ってください。
- 部門別 ID 管理もユーザ管理も設定されていない場合は、暗証番号が必要です。システム管理部門 ID と暗証番号が登録されていない場合は、何も入力する必要はありません。
- 部門別ID管理が設定されている場合は、システム管理部門IDと暗証番号、または部門IDと暗証番号が必要です。
- ユーザ管理が設定されている場合は、ユーザ ID とパスワードが必要です。

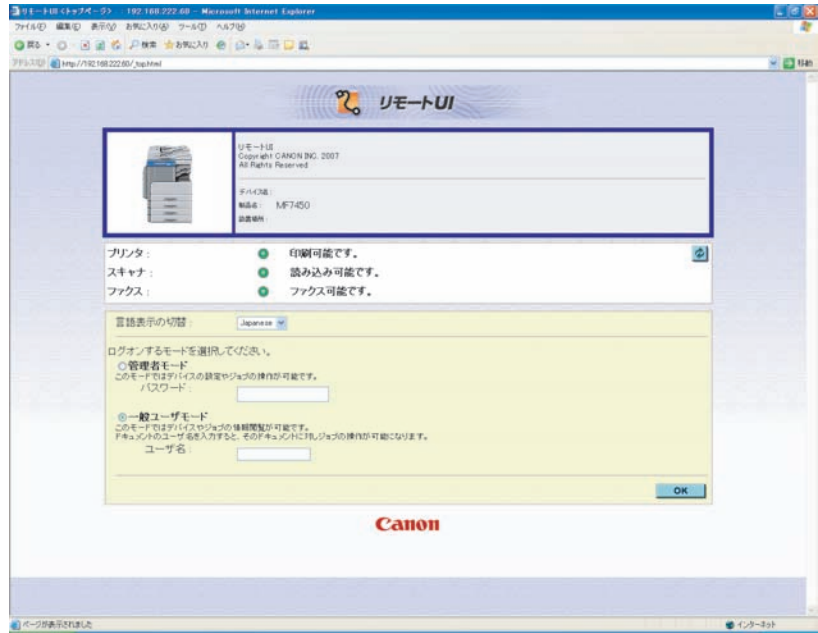
1 **Web ブラウザを起動します。**

2 **［アドレス］または［場所］に以下の URL を入力します。**

http:// ＜本製品の IP アドレス＞ /

リモート UI の画面が表示されます。

● 部門別 ID 管理もユーザ管理も設定されていない場合

❑ ログオンするモードを選択します。

［管理者モード］を選択し、暗証番号を入力します。

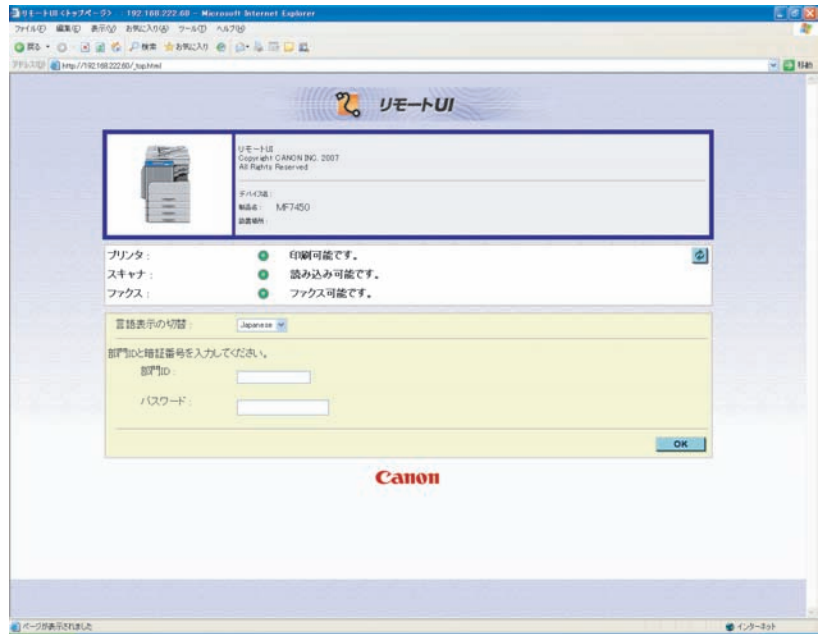
［一般ユーザモード］を選択し、ユーザ名を入力します。

メモ

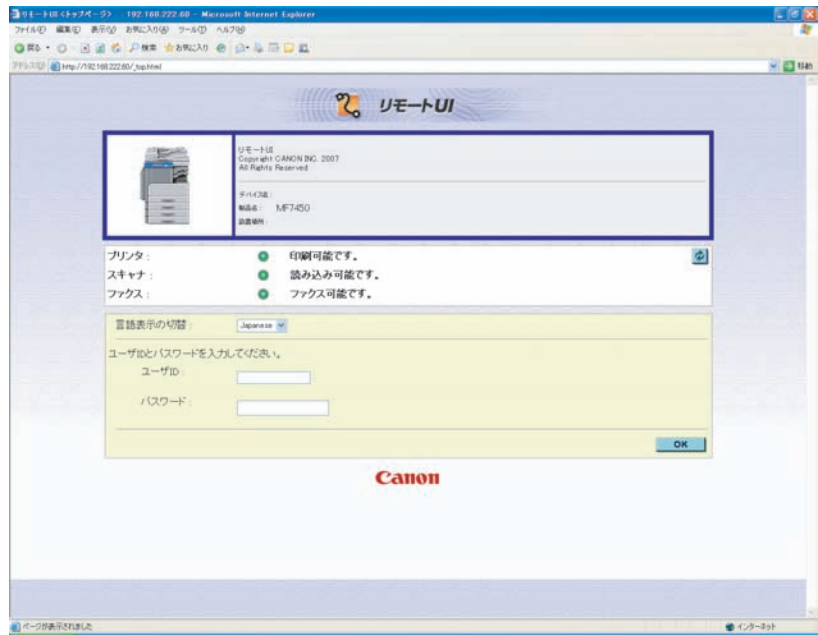
- システム管理部門IDと暗証番号が登録されていない場合は、何も入力する必要はありません。
- 暗証番号を設定、または変更するには、［初期設定／登録］➞［システム管理設定］➞画面右側の［編集］をクリックします。［暗証番号を設定する］をクリックし、［システム管理暗証番号］と［確認入力］に、それぞれ暗証番号を入力したら、［OK］をクリックします。暗証番号は 7 桁までの数字を入力できます。（➞システム管理情報の設定をする：P.3-2）
- 管理者モードでログオンしている場合のみ、暗証番号を変更できます。

● 部門別 ID 管理が設定されている場合

❑ 部門 ID と暗証番号を入力します。

メモ

- 部門 ID の暗証番号を設定、変更するには、［初期設定・登録］➞［部門別 ID/ ユーザ管理］➞画面右側の［設定］をクリックし、［部門別 ID 管理設定］をクリックします。
  ［部門 ID］に部門 ID を入力し、［暗証番号を設定する］にチェックを入れ、［暗証番号］、［確認入力］両方に暗証番号を入力します。暗証番号は 7 桁までの数字を入力できます。（➞部門別 ID 管理とユーザ管理をする：P.3-14）
- 管理者モードでログオンしている場合のみ、暗証番号を変更できます。
- リモート UI を管理者モードで使用したい場合は、［部門別 ID 管理設定］を設定する前に、デバイス上でシステム管理部門 ID と暗証番号を設定してください。登録を行う方法については、ユーザーズガイド「第 6 章　システム管理設定」を参照してください。

● **ユーザ管理が設定されている場合**

❑ ユーザ ID とパスワードを入力します。

メモ

- ユーザ ID のパスワードを設定、変更するには、[初期設定／登録)] ➞ [部門別 ID/ ユーザ管理] ➞画面右側の [設定] をクリックし、[ユーザ管理設定] をクリックします。[ユーザ ID] にユーザ ID を入力し、[パスワードを設定する] にチェックを入れ、[パスワード]、[確認入力] 両方にパスワードを入力します。パスワードは半角 32 文字までの英数字を入力でき、大文字、小文字は区別されます。(➞部門別 ID 管理とユーザ管理をする：P.3-14)
- 管理者モードでログオンしている場合のみ、パスワードを変更できます。
- [ユーザタイプ] を設定する場合は、最初に [管理者ユーザ] を設定することをおすすめします。

3 [OK] をクリックします。

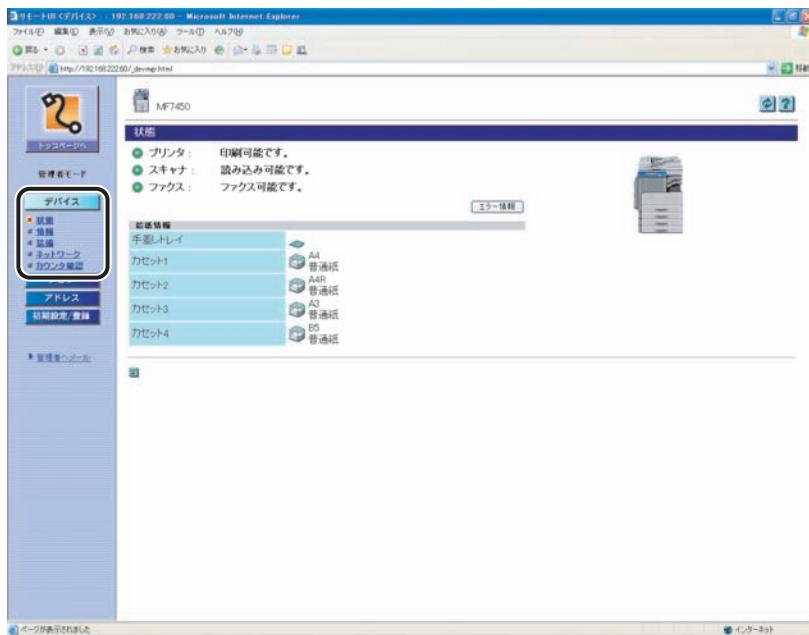
[デバイス] − [状態] 画面が表示されます。

いろいろな機能の確認／管理

リモート UI の各機能の確認や管理のしかたについて説明しています。

デバイスの状態や情報を表示する

リモート UI（User Interface）では、用紙残量やエラー状況などデバイスの現在の状態を調べることができます。また、デバイスの管理者や設置場所なども調べることができます。ネットワークについてはプロトコルなどの設定も行うことができます。

1 **［デバイス］をクリックしたあと、表示されるメニューから表示する項目を選択します。**

表示される項目

[状態]：　用紙有無、エラー状況、メンテナンス（消耗品）などデバイスの現在の状態が表示されます。[エラー情報] をクリックすると、エラーの詳細が表示されます。

[情報]：　デバイスの管理者や設置場所などデバイスに関する情報が表示されます。

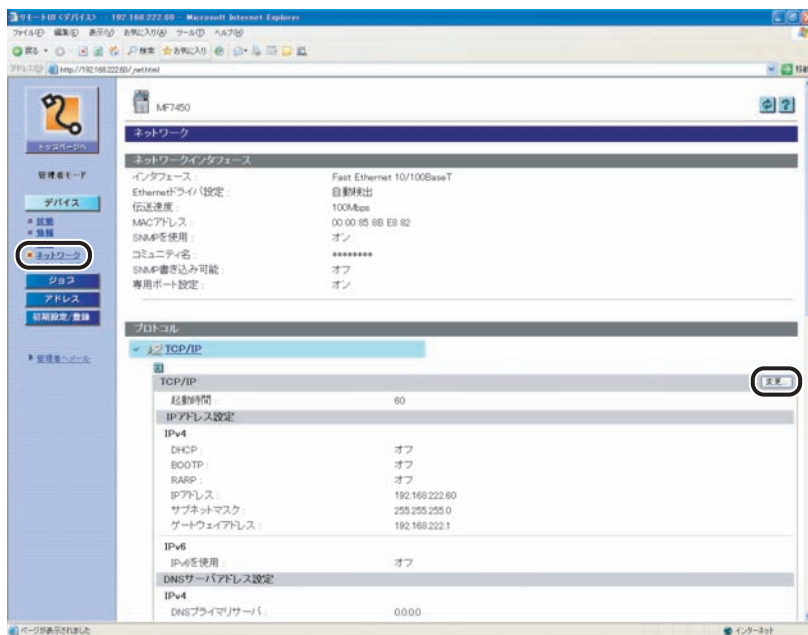
[装備]：　最大印刷速度、総 RAM 容量、空き RAM 容量、カセット数など現在利用可能な装備状況が表示されます。

[ネットワーク]：　デバイスのネットワーク設定の表示と設定を行うことができます。
管理者モードでログオンしている場合のみ、ネットワークの設定を行うことができます。
設定の変更を行った後は、一度本製品の主電源を切り、10 秒後に電源を入れなおしたあと、リモート UI を再起動してください。

[カウンタ確認]：　デバイスのカウント値が表示されます。デバイスの [カウンタ確認] キーを押したときと同様、最大 6 件のカウント値が表示されます。

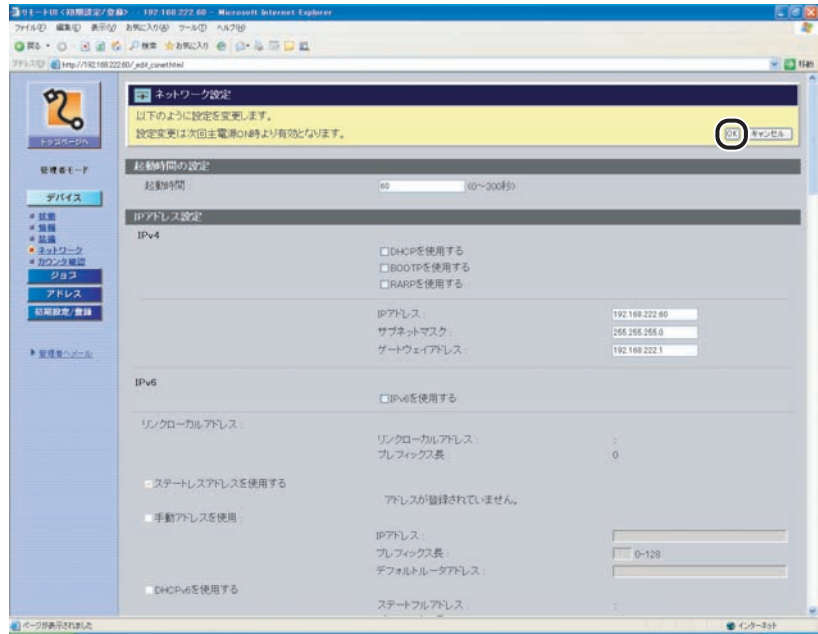
選択した項目の情報が表示されます。

● ネットワークの設定を行う場合

❑ [ネットワーク] をクリックします。

ネットワーク画面が表示されます。

❑ [変更] をクリックします。

ネットワーク設定画面が表示されます。

❑ 各項目を設定したあと、[OK] をクリックします。

重要　ネットワーク設定の変更は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあとに有効になります。設定を変更したあと、一度本製品の主電源を切り、10 秒後に電源を入れなおしてください。

メモ　設定内容の詳しい説明は、ネットワークガイドを参照してください。

ジョブの管理をする

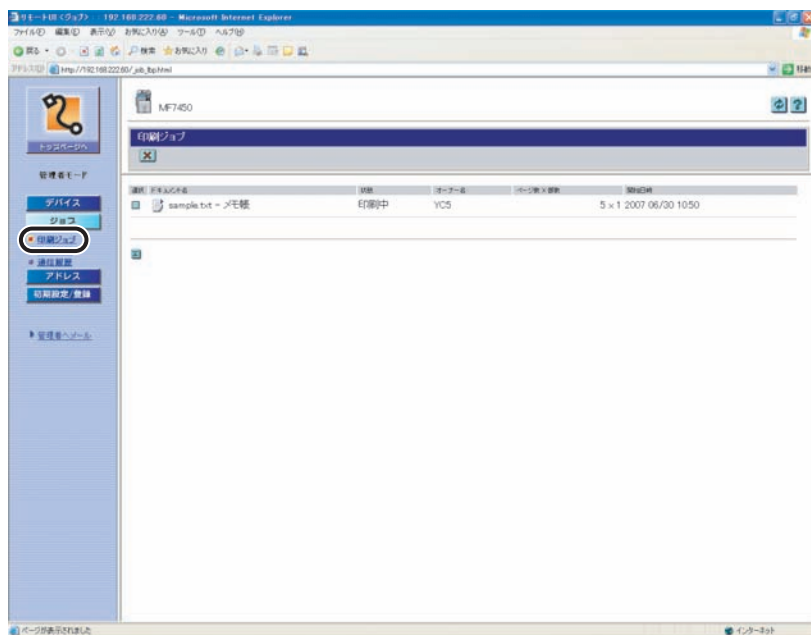
リモート UI では、印刷ジョブの状況確認や中止などの管理ができます。また、印刷履歴やファクスの通信履歴を表示して確認することができます。

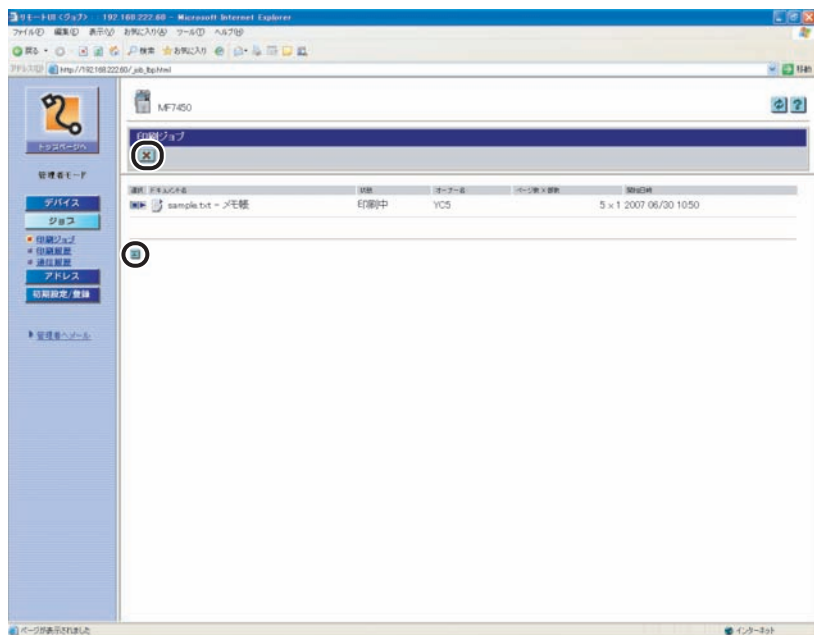
- 印刷ジョブ
- 印刷履歴
- 通信履歴

メモ

- リモート UI から行うことができるジョブの管理は、本体操作パネルの［システム状況 / 中止］からも行うことができます。操作パネルから行う方法については、ユーザーズガイド「第 5 章　いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認」、送信／ファクスガイド「第 7 章　送信／受信状況の確認と変更」を参照してください。
- ジョブの管理の詳しい説明は、ユーザーズガイド「第 5 章　いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認」を参照してください。
- ファクス送信ジョブ／ファクス受信ジョブの詳しい説明は、送信／ファクスガイド「第 7 章　送信／受信状況の確認と変更」を参照してください。

印刷ジョブを削除する

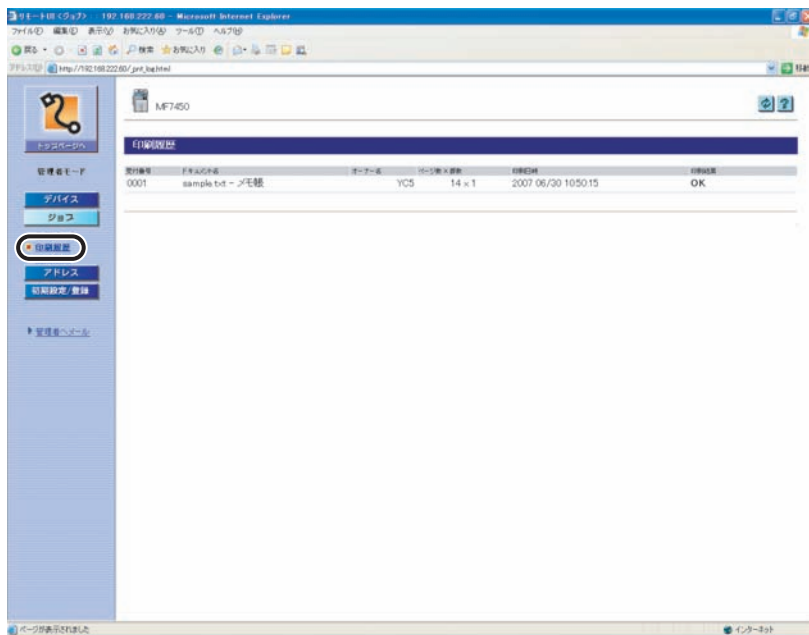
1 **［ジョブ］をクリックしたあと、表示されるメニューから［印刷ジョブ］を選択します。**

印刷ジョブの一覧が表示されます。

2 削除するジョブの［ ］（選択）をクリックしたあと、［ ］（削除）を選択します。

選択したジョブが削除されます。

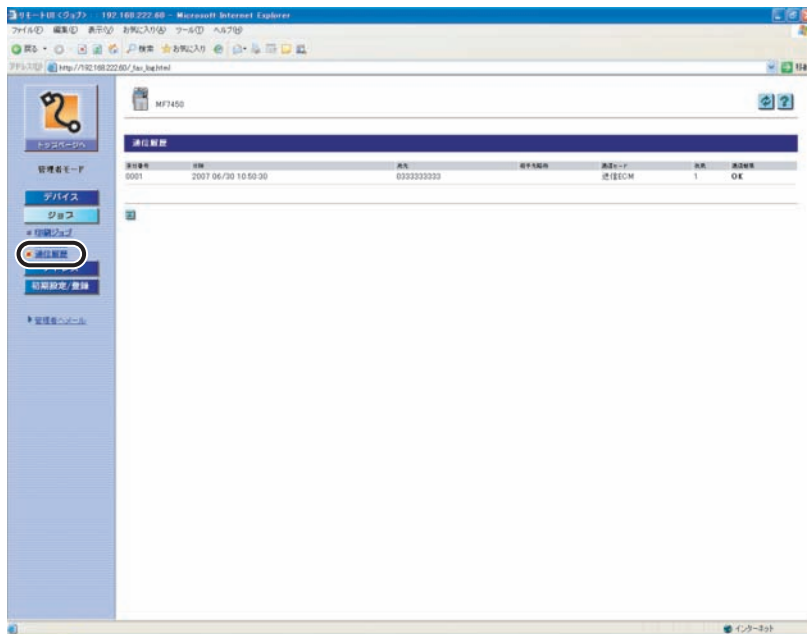
メモ

- ［ ］（選択）をクリックするとジョブを選択した状態になり、三角マークが付きます。
- 削除したジョブは元に戻すことはできません。
- 一般ユーザーモードでは他のユーザの印刷ジョブは削除できません。
- ［一般ユーザによるジョブ操作を許可する］が OFF に設定されている場合は、一般ユーザーモードで印刷ジョブは削除できません。［一般ユーザによるジョブ操作を許可する］は、［初期設定／登録］➞［システム管理］➞［ID と暗証番号の登録］から設定できます。（➞システム管理情報の設定をする：P.3-2）

印刷履歴を表示する

1 **「ジョブ」をクリックしたあと、表示されるメニューから［印刷履歴］を選択します。**

最新のものから最大 128 件の印刷履歴が表示されます。

通信履歴を表示する

1 **［ジョブ］をクリックしたあと、表示されるメニューから［通信履歴］を選択します。**

最新のものから最大 40 件の通信履歴が表示されます。

メモ　通信履歴には、ファクスだけでなくすべての通信をあわせたものが表示されます。

宛先表の管理をする

リモート UI から、宛先表やワンタッチダイヤルの登録や編集ができます。リモート UI で管理できる宛先の種類には以下のものがあります。

メモ　リモート UI で行うことができる宛先表の管理は、本体操作パネルの（初期設定 / 登録）→［宛先表仕様設定］からも行うことができます。操作パネルから行う方法については、送信／ファクスガイド「第 9 章　宛先の登録／編集」を参照してください。

■ **ファクス**
ファクス番号を登録できます。

■ **I ファクス**
I ファクスアドレスを登録できます。

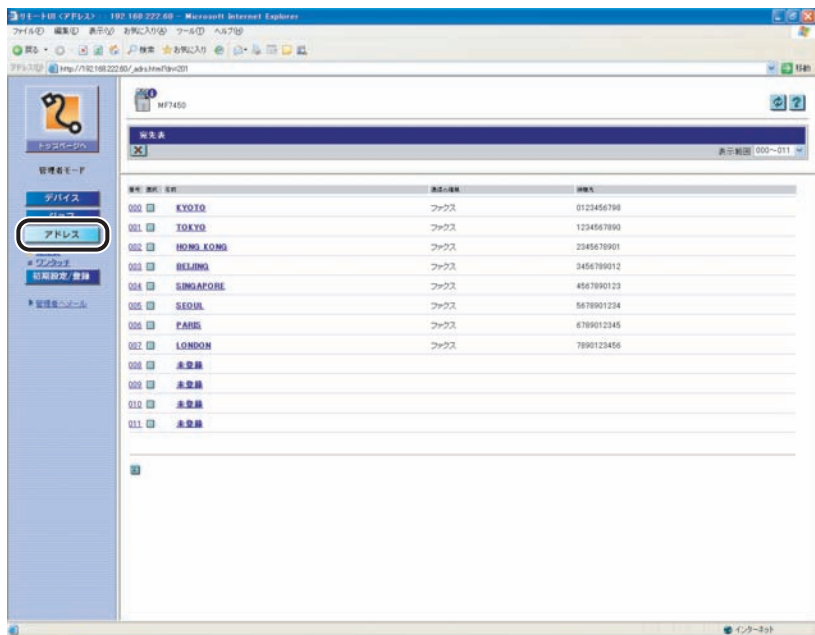
■ **電子メール**
電子メールアドレスを登録できます。

■ **ファイル**
FTP または SMB のファイルサーバを登録できます。

■ **グループ**
複数の送信先を 1 つのグループとして登録できます。

重要　I ファクス、電子メール、ファイルの登録機能は、オプションのシンプル SEND 拡張キットを有効にした場合に使用することができます。

メモ　登録や編集を行った場合は、［OK］ボタンを押したあと、本製品にすぐ反映されます。

1 ［アドレス］をクリックします。

宛先表に暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。宛先表の暗証番号を入力したあと［OK］をクリックします。

宛先表に登録されている宛先の一覧が表示されます。

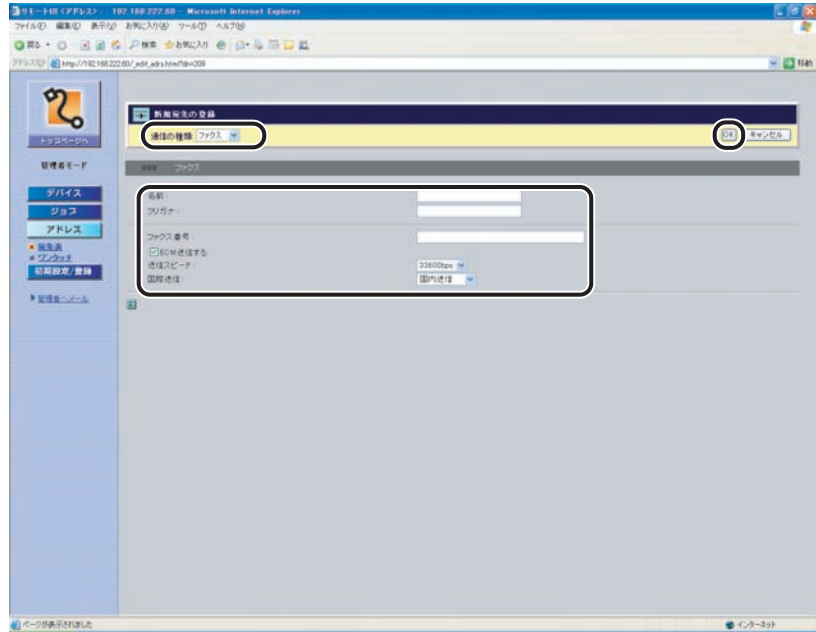
メモ　［リスト番号］ドロップダウンリストから表示する番号を指定できます。

2 宛先の登録や編集をします。

● 宛先を登録する場合

❑ 登録する番号の［未登録］をクリックします。

［未登録］の左側にある番号をクリックしても［新規宛先の登録］ページを表示させることができます。

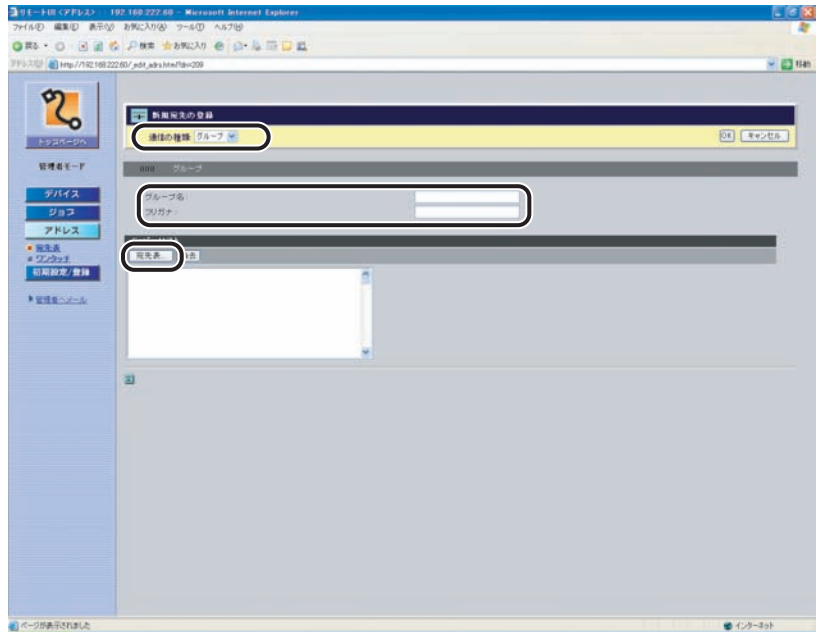
❑ 登録する宛先の種類を選択して、必要な項目を入力したあと、[OK] をクリックします。

宛先表に新規宛先が登録されます。

メモ
- 通信の種類でファクス、グループ、電子メール、ファイルまたはＩファクスを切り替えることができます。
- 設定内容の詳しい説明は、送信／ファクスガイド「第９章　宛先の登録／編集」を参照してください。

● **グループ宛先を登録する場合**

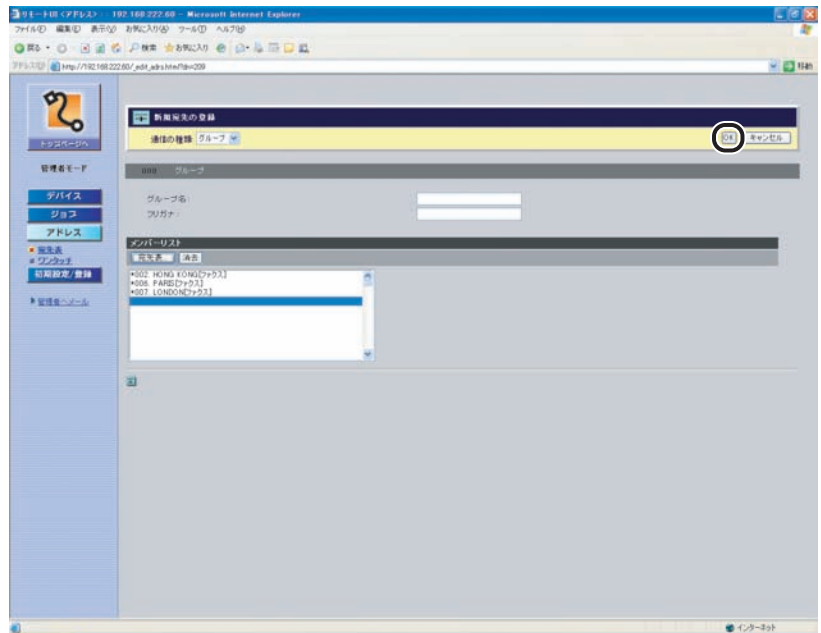
❑ 登録する番号の［未登録］をクリックします。

❑ 通信の種類ドロップダウンリストからグループを選択します。

❑ グループ名を入力したあとメンバーリストの［宛先表］をクリックします。

宛先の一覧が表示されます。

❑ グループ宛先に追加する宛先の左側のチェックボックスにチェックマークを付けたあと、［OK］をクリックします。

メンバーリストに追加した宛先が表示されます。

❑ 登録するグループ宛先を確認したあと、[OK] をクリックします。

メンバーリストから宛先を消去する場合は、宛先を選択したあと［消去］をクリックします。

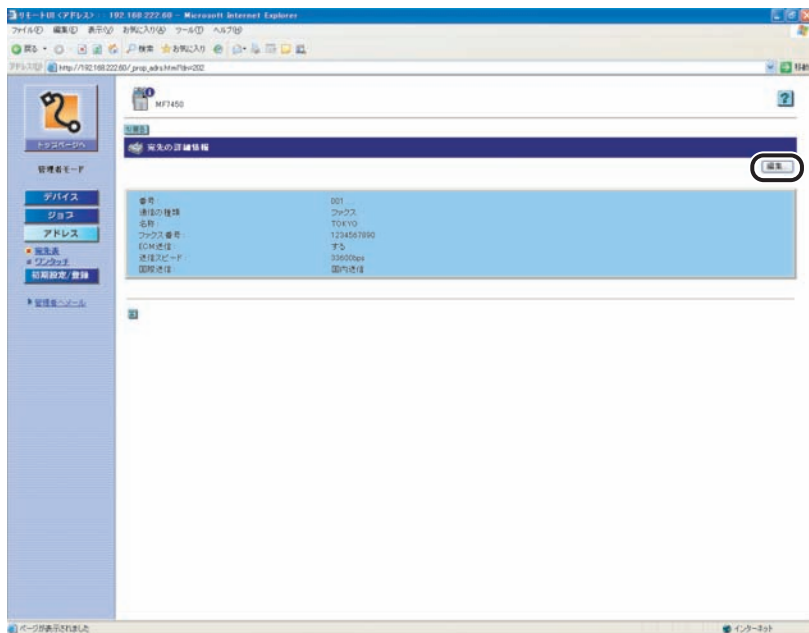
グループ宛先が登録されます。

メモ　設定内容の詳しい説明は、送信／ファクスガイド「第９章　宛先の登録／編集」を参照してください。

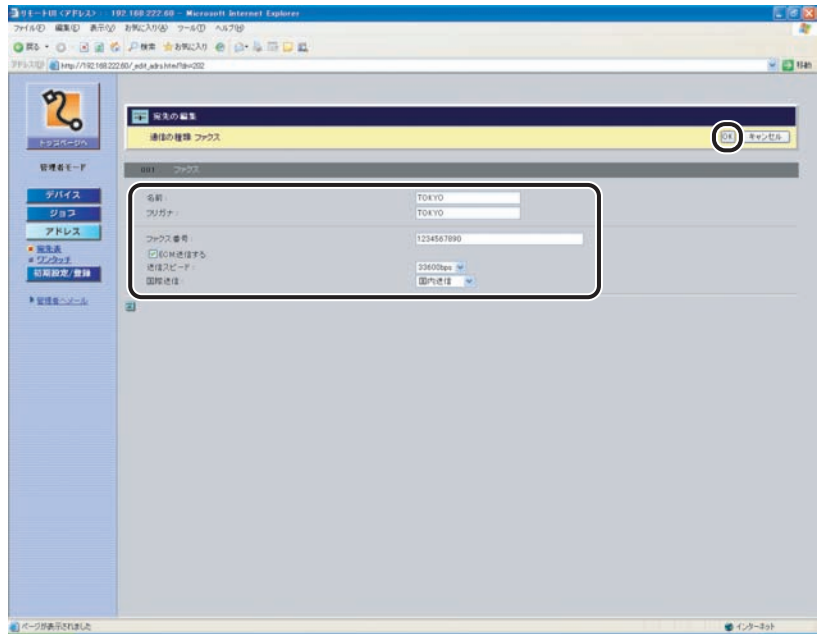
● **宛先の詳細情報を表示／変更する場合**

❑ 宛先の名称をクリックします。

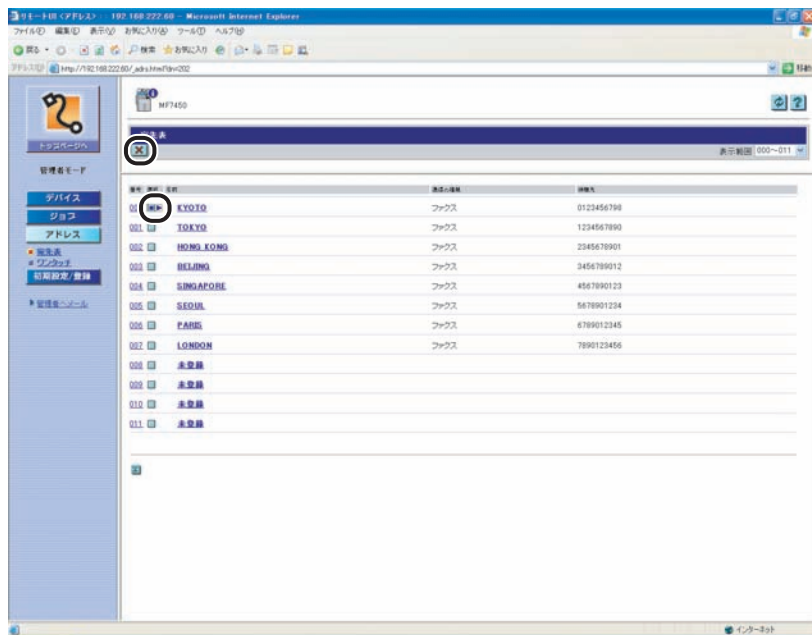
宛先の名称の左側にあるアイコンまたは、宛先の番号をクリックしても、宛先の詳細情報を表示することができます。

❑ ［編集］をクリックします。

［グループの詳細情報］のページでは、［編集］をクリックするとグループ名の編集ができます。また、メンバーリストの［編集］をクリックするとグループメンバーの編集ができます。

編集のページが表示されます。

❑ 変更する項目を入力しなおしたあと、［OK］をクリックします。

メモ　設定内容の詳しい説明は、送信／ファクスガイド「第９章　宛先の登録／編集」を参照してください。

● 宛先を削除する場合

❑ 宛先名の左側にある［ ］（選択）をクリックして、［ ］（宛先の削除）をクリックします。

選択した宛先が削除されます。

メモ
- [ ]（選択）をクリックすると、宛先が選択された状態になり、三角マークが付きます。
- 削除した宛先は元に戻すことはできません。

3
CHAPTER

使いかたにあわせた設定

リモート UI の各機能の設定のしかたについて説明しています。

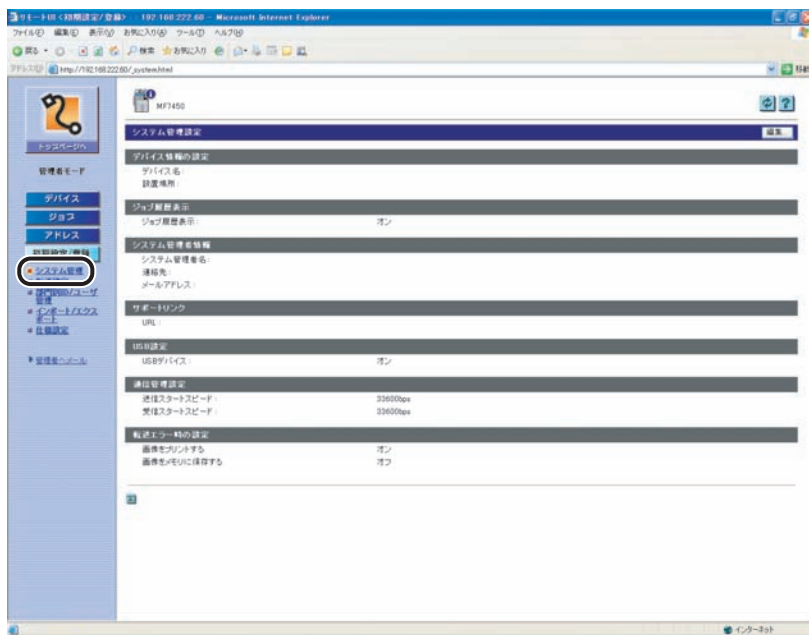
システム管理の設定をする

システム管理情報の設定をする

リモート UI では、本製品のシステムを管理する情報の設定ができます。

メモ

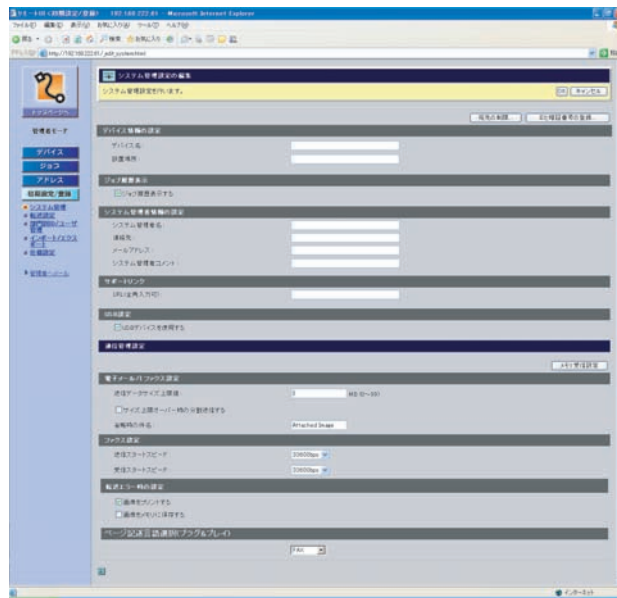
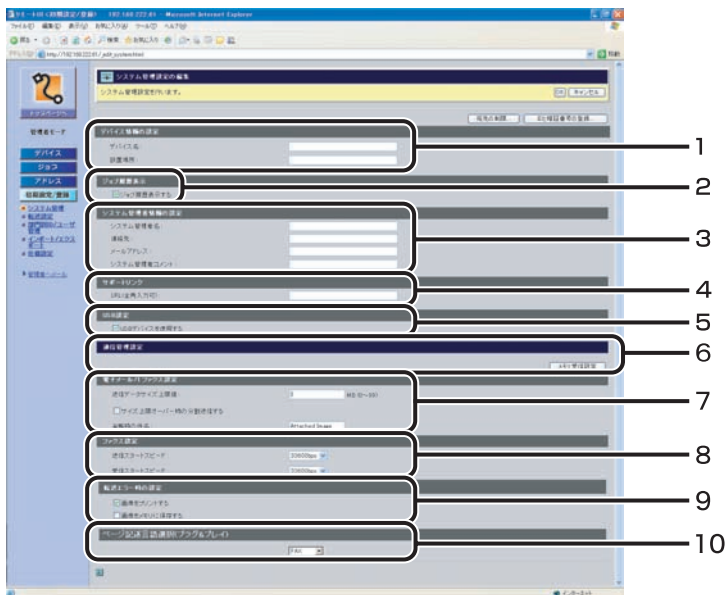
- リモート UI から行うことができるシステム管理設定の一部は、本体操作パネルの ㊋（初期設定 / 登録）➞［システム管理設定］➞［システム管理者情報の設定］からも行うことができます。操作パネルから行う方法については、ユーザーズガイド「第 6 章　システム管理設定」、送信／ファクスガイド「第 10 章　システム管理設定」を参照してください。
- システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号は 7 桁まで登録できます。7 桁に満たない場合は以下のようになります。
  例：「321」と入力 ➞「0000321」と設定されます。

1 **［初期設定 / 登録］をクリックしたあと、表示されるメニューから［システム管理］を選択します。**

現在のシステム管理設定の設定が表示されます。

3

使いかたにあわせた設定

2 ［編集］をクリックします。

［システム管理設定の編集］ページが表示されます。

3 必要な項目を設定したあと、［OK］をクリックします。

1. デバイス情報の設定をします。

デバイス名：	デバイスの名前を入力します。32 文字（全角の場合は 16 文字）以内で入力してください。
設置場所：	デバイスの設置場所を入力します。32 文字（全角の場合は 16 文字）以内で入力してください。

2. ジョブ履歴表示の設定をします。

ジョブ履歴表示する：	ジョブ履歴表示するかどうかを設定します。

3. システム管理者情報の設定をします。

システム管理者名：	システム管理者の名前を入力します。32 文字（全角の場合は 16 文字）以内で入力してください。
連絡先：	システム管理者の連絡先を入力します。32 文字（全角の場合は 16 文字）以内で入力してください。
メールアドレス：	システム管理者の電子メールアドレスを入力します。64 文字以内で入力してください。
システム管理者コメント：	システム管理者のコメントを入力します。32 文字（全角の場合は 16 文字) 以内で入力してください。

4. サポートリンクの設定をします。

URL：	リモート UI のトップページに表示される［サポートリンク］のリンク先 URL を指定します。

5. USB の設定をします。

USB デバイスを使用する：	USB デバイスを使用するかどうかを設定します。

6. メモリ受信の設定をします。

暗証番号を設定する：	メモリ受信設定に入るための暗証番号を設定します。
暗証番号：	暗証番号を変更する場合、新しい暗証番号を入力します。7 桁までの半角数字を入力してください。
確認入力：	暗証番号と同じ番号を入力します。暗証番号と異なる番号を入力した場合は、エラーのダイアログボックスが表示されます。
レポートプリントを使う：	レポートプリントを使うかどうかの設定をします。
メモリ受信時刻を指定する：	メモリ受信の開始時刻と終了時刻を設定します。

7. 電子メール／I ファクスの設定をします。

送信データサイズ上限値：	電子メールや I ファクス送信することができる最大データサイズを設定します。
サイズ上限オーバ時の分割送信する：	送信データサイズの上限値を超えた場合、分割送信するかどうかを設定します。
省略時の件名：	送信時の件名を省略した場合の件名を設定します。

8. ファクスの設定をします。

送信スタートスピード：	送信スタートスピードを設定します。
受信スタートスピード：	受信スタートスピードを設定します。

9. 転送エラー時の設定をします。

画像をプリントする：	転送エラー文書をプリントします。
画像をメモリに保存する：	転送エラー文書をメモリに保存します。

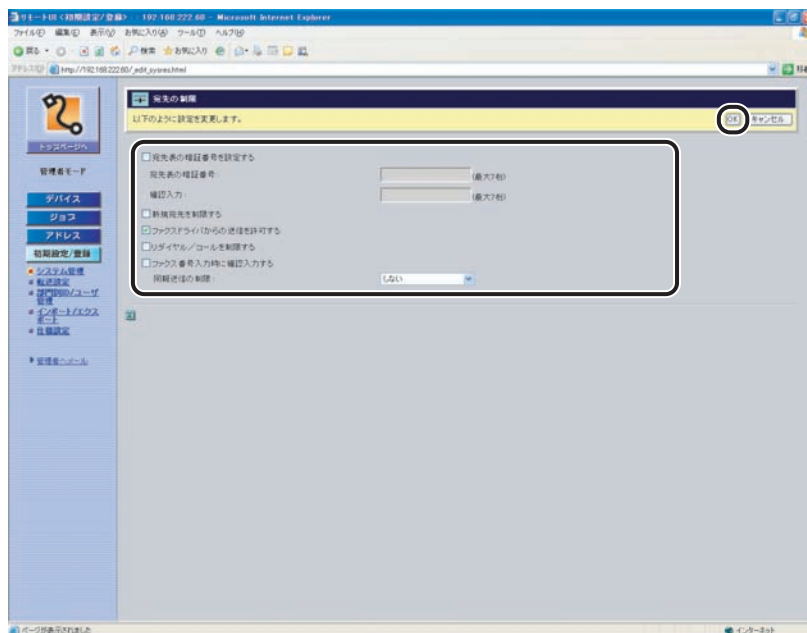
10. ページ記述言語選択（プラグ＆プレイ）の設定をします。
ページ記述言語選択（プラグ＆プレイ）を設定する機能を選択します。本体側で、本体に装着されているファクスボードやプリンタキットに適した機能を指定します。パソコン側では、指定された機能に対応するドライバを検出してインストールを行います。

メモ　ページ記述言語選択（プラグ＆プレイ）の詳しい説明は、
ユーザーズガイド「第 6 章　システム管理設定」を参照してください。

● 宛先の制限を設定する場合

❏ ［宛先の制限］をクリックします。

［宛先の制限］ページが表示されます。

❏ 必要な項目を設定したあと、［OK］をクリックします。

表示される項目

宛先表の暗証番号を設定する：チェックマークを付けると、宛先表やワンタッチダイヤルの登録／編集をする場合の暗証番号を設定、または変更できます。

宛先表の暗証番号：　宛先表の暗証番号を設定します。7 桁までの半角数字を入力してください。

確認入力：　暗証番号と同じ番号を入力します。暗証番号と異なる番号を入力した場合は、エラーのダイアログボックスが表示されます。

新規宛先を制限する：　宛先表に登録されていない新規宛先への送信を、制限するように設定することができます。チェックマークを付けると、テンキーダイヤルでの宛先の指定、リダイヤルでの宛先の指定、宛先表の登録および編集が制限されます。

ファクスドライバからの送信を許可する：
チェックマークを付けると、ファクスドライバからのファクス送信を許可します。

リダイヤルの制限をする：　リダイヤル機能の制限を設定することができます。チェックマークを付けると、タッチパネルから［コール］が表示されなくなり、リダイヤル機能が使用できなくなります。

コールの制限をする：	コール機能の制限を設定することができます。チェックマークを付けると、タッチパネルから［コール］が表示されなくなり、コール機能が使用できなくなります。
ファクス番号入力時に確認入力する：	チェックマークを付けると、テンキーで新規宛先の番号を入力する場合に、宛先の確認入力画面が表示されます。
同報送信を制限する：	同報送信を許可するかどうかの設定をします。また、送信先が複数あることを送信時メッセージ表示で通知させるように設定することもできます。

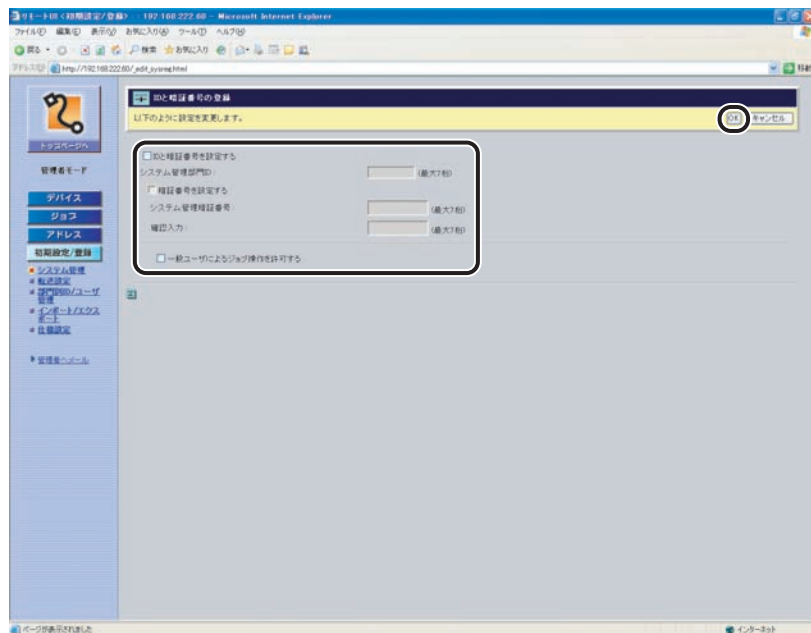
メモ

- 「コールの制限をする」は、オプションのシンプル SEND 拡張キット（Satera MF7450N/MF7350N は標準装備）を有効にした場合に表示されます。その場合「リダイヤルの制限をする」は表示されなくなります。
- 宛先の制限の詳しい説明は、送信／ファクスガイド「第 10 章　システム管理設定」を参照してください。

● **システム管理部門 ID と暗証番号を設定する場合**

❑ ［ID と暗証番号の登録］をクリックします。

［ID と暗証番号の登録］ページが表示されます。

❑ 必要な項目を設定したあと、［OK］をクリックします。

表示される項目

ID と暗証番号を設定する：　システム管理部門 ID と暗証番号の設定をするかしないかの設定をします。チェックマークを付けると、初期設定 / 登録の設定をするときに ID と暗証番号を入力するダイアログボックスが表示されるようになります。［部門別 ID 管理をする］が設定されていない場合は［暗証番号を設定する］と表示されます。（➞ 部門別 ID 管理とユーザ管理をする：P.3-14）

システム管理部門 ID：　システム管理部門の ID を設定します。7 桁までの半角数字を入力してください。［部門別 ID 管理をする］が設定されている場合のみ表示されます。（➞ 部門別 ID 管理とユーザ管理をする：P.3-14）

暗証番号：　暗証番号が設定されているかいないかが表示されます。

暗証番号を設定／変更する：　チェックマークを付けると、暗証番号を設定、または変更できます。

システム管理暗証番号：　システム管理部門の暗証番号を設定します。7 桁までの半角数字を入力してください。

確認入力：　暗証番号と同じ番号を入力します。暗証番号と異なる番号を入力した場合は、エラーのダイアログボックスが表示されます。

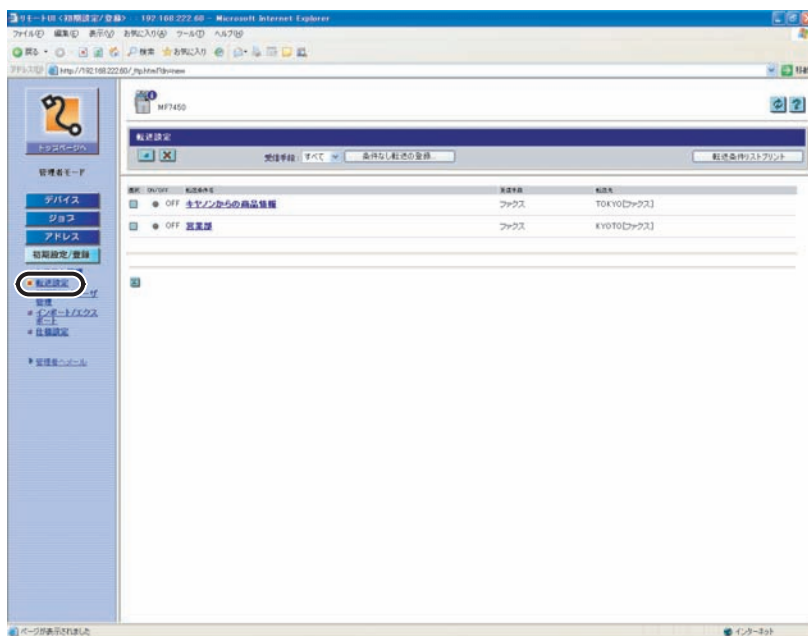
一般ユーザによるジョブ操作を許可する：
　チェックマークを付けると、一般ユーザからも印刷ジョブの削除が可能になります。

転送の設定をする

リモート UI では、受信した文書を転送するための条件の設定をすることができます。

メモ

- リモート UI から行うことができる転送の設定は、本体操作パネルの ⊛（初期設定 / 登録）➞［システム管理設定］➞［転送設定］からも行うことができます。操作パネルから行う方法や転送設定の詳しい説明は、送信／ファクスガイド「第 10 章　システム管理設定」を参照してください。
- ［転送設定］は、管理者モードでログオンした場合のみ表示されます。
- 条件ありの転送設定は 10 件まで登録できます。また、条件なし転送設定は受信文書の種類ごとに 1 件ずつ登録できます。

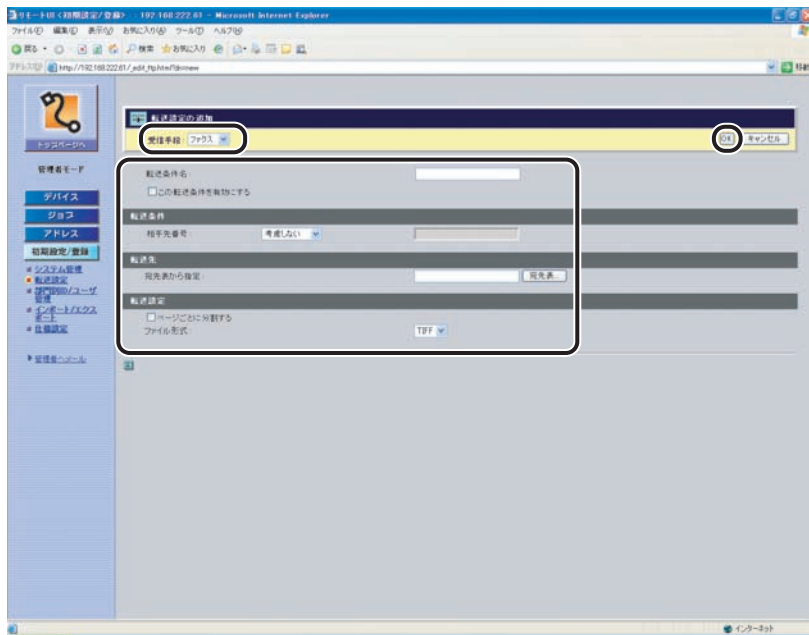
1 **［初期設定 / 登録］をクリックしたあと、表示されるメニューから［転送設定］を選択します。**

本製品に登録されている転送設定の一覧が表示されます。

● **登録した転送設定をプリントする場合**

❑ ［転送条件リストプリント］をクリックします。転送条件リストがプリントされます。

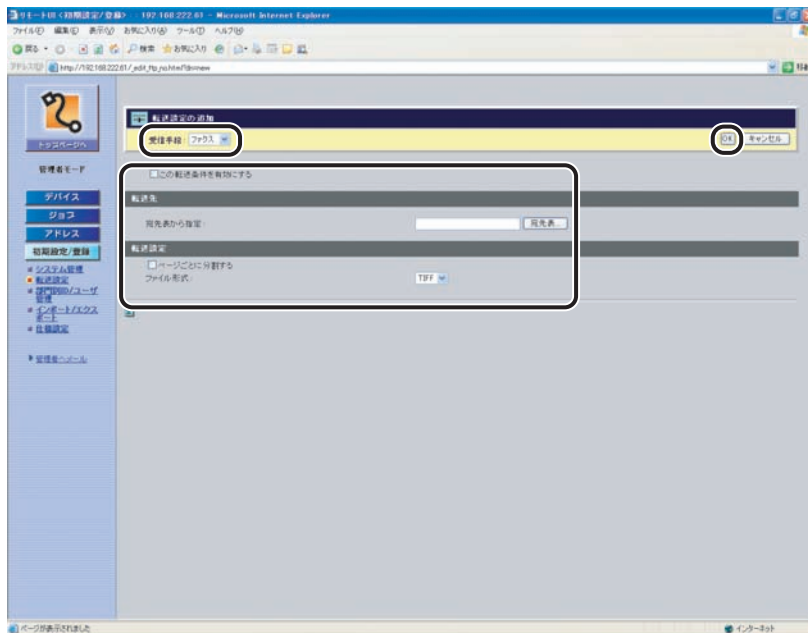
2 ［受信手段］ドロップダウンリストから受信手段を選択します。

［すべて］を選択した場合、本製品に登録されているすべての転送設定が表示されます。

3 転送設定を登録する場合は、［ ］（転送設定の追加）をクリックして表示される［転送設定の追加］ページで必要な項目を設定したあと、［OK］をクリックします。

表示される項目

受信手段：	受信手段を選択します。［ファクス］または［I ファクス］から選択します。
転送条件名：	転送条件名を入力します。［この転送条件を有効にする］にチェックマークを付けると、転送条件が有効になります。
転送条件：	受信した文書を転送する条件を設定します。選択された受信手段（ファクス、I ファクス）によって表示される項目が変わります。
転送先：	転送先を設定します。［宛先表］をクリックして転送先を選択します。
転送時の設定：	転送する文書のファイル形式などを設定します。［ページごとに分割する］にチェックマークを付けると、複数の画像をページごとに分割して転送します。［ファイル形式］は、［TIFF］または［PDF］から選択できます。

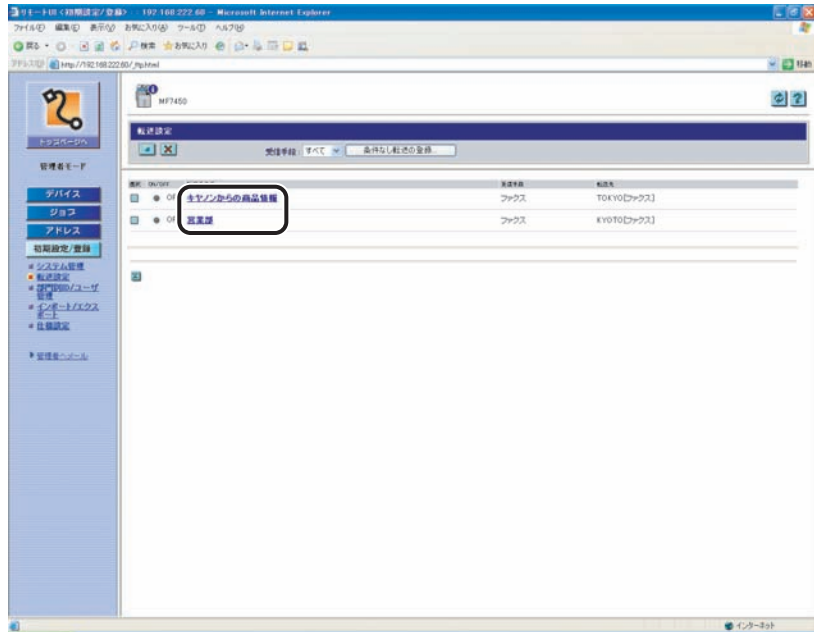
メモ　転送条件の詳しい説明は、送信／ファクスガイド「第 10 章　システム管理設定」を参照してください。

4 条件なし転送を登録する場合は、[条件なし転送の登録] をクリックして表示される [条件なし転送の登録] ページで必要な項目を設定したあと、[OK] をクリックします。

表示される項目

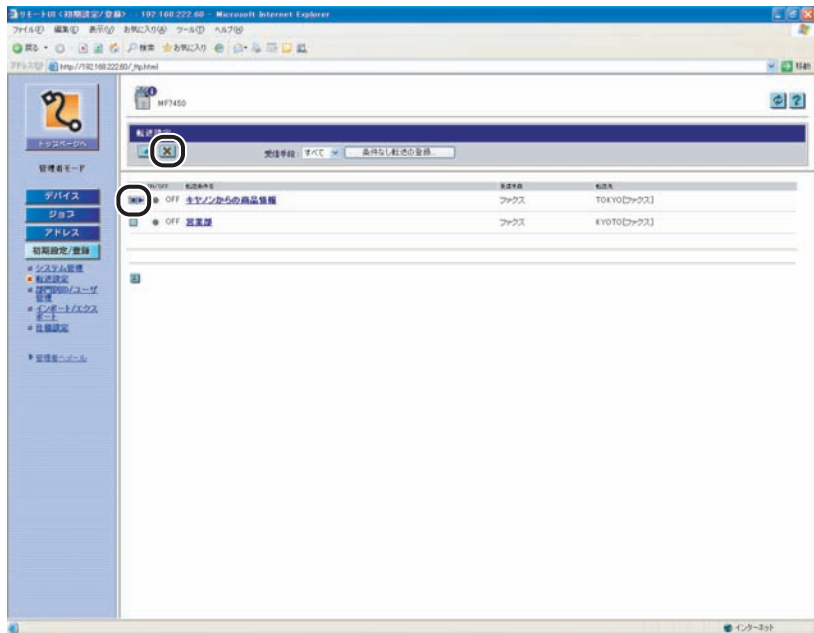
通信の種類：	受信手段を選択します。[ファクス] または [I ファクス] から選択します。
この転送条件を有効にする：	チェックマークをつけると、転送条件が有効になります。
転送先：	転送先を設定します。[宛先表] をクリックして転送先を選択します。
転送時の設定：	転送する文書のファイル形式などを設定します。[ページごとに分割する] にチェックマークを付けると、複数の画像をページごとに分割して転送します。[ファイル形式] は、[TIFF] または [PDF] から選択できます。

メモ

転送条件の詳しい説明は、送信／ファクスガイド「第 10 章　システム管理設定」を参照してください。

5 転送設定を編集する場合は、転送条件名をクリックして表示される［転送設定の編集］ページで必要な項目を設定したあと、［OK］をクリックします。

6 転送設定を削除する場合は、削除する転送設定の［□］（選択）→［×］（削除）を順にクリックします。

選択した転送設定が削除されます。

メモ

- ［□］（選択）をクリックすると、転送設定が選択された状態になり、三角マークが付きます。
- 削除した転送設定は元に戻すことはできません。

部門別 ID 管理とユーザ管理をする

リモート UI では、部門別に ID 管理とユーザ管理ができます。

リモート UI から部門別 ID 管理とユーザ管理を設定する方法については、以下の手順に従ってください。

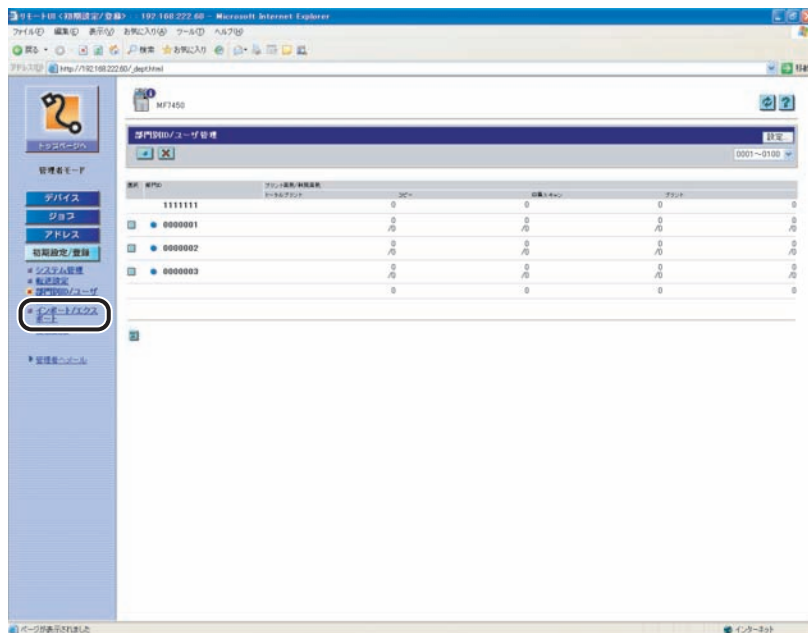
重要

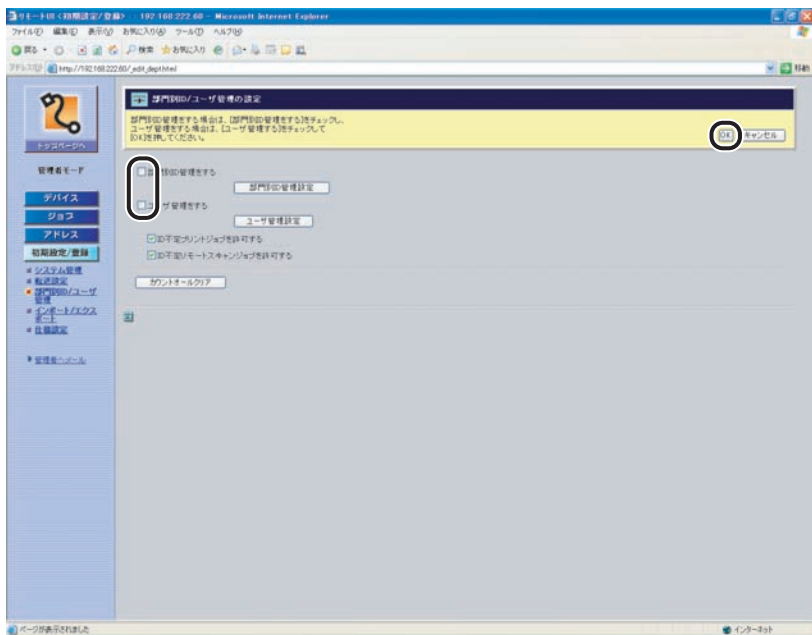
- オプションのカードリーダ・E1 装着時は、部門別 ID 管理を [ON]、ユーザ管理を [OFF] に設定したあと、デバイス上でシステム管理部門 ID と暗証番号の登録を行ってください。登録方法については、ユーザーズガイド「第 6 章　システム管理設定」を参照してください。
- 部門別 ID 管理を使用する場合は、操作パネルの［システム管理設定］の操作またはリモート UI の操作を制限するため、システム管理部門 ID と暗証番号の両方を設定する必要があります。設定をしないと、すべてのユーザが管理者ユーザとみなされ、どのユーザも操作パネルの［システム管理設定］とリモート UI を制限なしに使用できます。(➞ システム管理の設定をする：P.3-2)
- ユーザ管理を使用する場合は、操作パネルの［システム管理設定］の操作またはリモート UI の操作を制限するため、管理者ユーザの権限を与えたユーザを登録する必要があります。登録をしないと、すべてのユーザが管理者ユーザとみなされ、どのユーザも操作パネルの［システム管理設定］とリモート UI を制限なしに使用できます。

メモ

- リモートUIから行うことができる部門別ID管理は、本体操作パネルの ㊍（初期設定/登録）➞［システム管理設定］➞［部門別 ID 管理］からも行うことができます。操作パネルから行う方法については、ユーザーズガイド「第 6 章　システム管理設定」を参照してください。
- 部門別 ID 管理の詳しい説明は、ユーザーズガイド「第 6 章　システム管理設定」を参照してください。
- 部門別 ID/ ユーザ管理は管理者モードでのみ操作できます。
- ユーザの登録はリモート UI からのみ操作できます。
- オプションのカードリーダ・E1 装着時は、以下の手順の画面とは表示が異なります。

部門別 ID/ ユーザ管理の設定をする

1 **［初期設定 / 登録］をクリックしたあと、表示されるメニューから［部門別 ID/ ユーザ管理］を選択します。**

本製品に登録されている部門 ID の一覧、またはユーザの一覧が 100 件ずつ表示されます。別の 100 件を表示するには、［1 ～ 100］のドロップダウンリストから選択します。部門 ID の一覧とユーザの一覧を切り替えるには、［表示リスト切替］をクリックします。

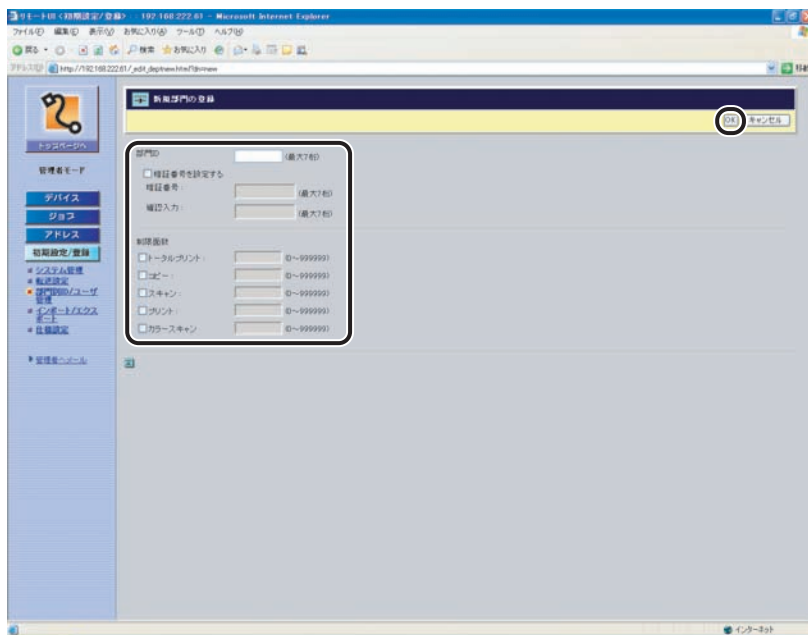
2 ［設定］をクリックし、［部門別 ID 管理をする］、または［ユーザ管理をする］にチェックをしたあと、［OK］を押します。

表示される項目

部門別 ID 管理をする：	部門別 ID 管理ができます。チェックマークを付けると、本製品でコピー機能などを使用する前に部門 ID の入力が必要になり、部門ごとのカウンタ管理やプリント面数の制限などができるようになります。また、ジョブの操作をするときにも、部門 ID と暗証番号の入力が必要になります。
［部門別 ID 管理設定］	部門IDの新規登録や制限面数の設定などができます。
ユーザ管理をする：	ユーザ管理ができます。チェックマークを付けると、本製品でコピー機能などを使用する前にユーザ ID の入力が必要になり、ジョブの操作をするときにも、ユーザ ID とパスワードの入力が必要になります。
［ユーザ管理設定］	ユーザの新規登録、パスワードの設定などができます。
ID 不定プリントジョブを許可する：	チェックマークを付けると、部門別 ID 管理に対応していないプリンタドライバからのプリントも可能になります。チェックマークをはずすと、部門別 ID 管理に対応しているプリンタドライバからのみプリントが可能になります。
ID 不定リモートスキャンジョブを許可する：	チェックマークを付けると、部門別 ID 管理に対応していないパソコンからのリモートスキャンも可能になります。チェックマークをはずすと、部門別 ID 管理に対応しているパソコンからのみ、リモートスキャンが可能になります。
［カウントオールクリア］	全部門のカウンタの値を 0 に戻すことができます。

メモ

- リモート UI を管理者モードで使用したい場合は、[部門別 ID 管理設定] を設定する前に、デバイス上でシステム管理部門 ID と暗証番号を設定してください。登録を行う方法については、ユーザーズガイド「第 6 章　システム管理設定」を参照してください。
- 部門別ID管理とユーザ管理を両方設定した場合は、ユーザIDごとに部門IDを割り当てる必要があります。部門 ID が割り当てられていないユーザ ID は本製品の操作ができません。

部門 ID の登録や編集をする

1 部門 ID を登録する場合は、[部門別 ID 管理設定] をクリックして表示される [新規部門の登録] ページで必要な項目を設定したあと、[OK] をクリックします。

[部門別 ＩＤ/ ユーザ管理] ページで [ ] をクリックしても [新規部門の登録] ページが表示されます。

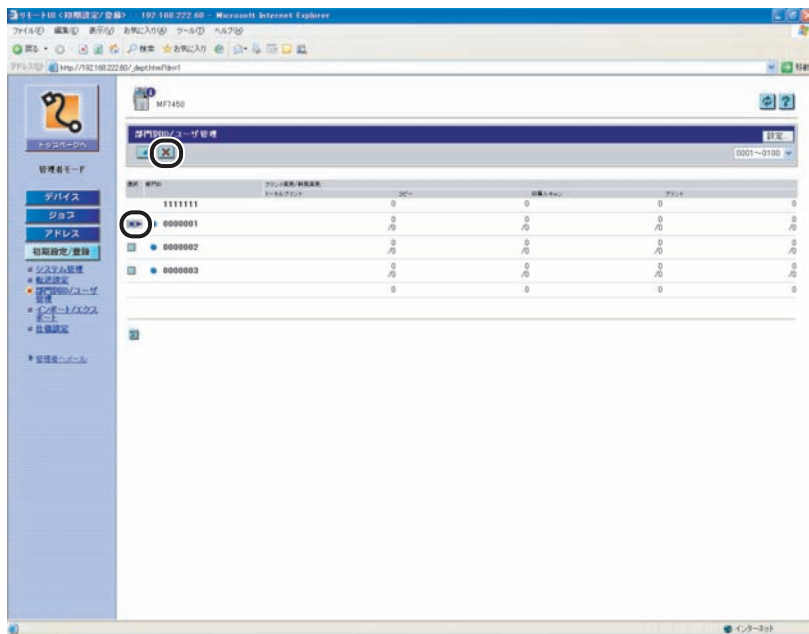
表示される項目

部門 ID：	部門 ID を 7 桁までの半角数字で入力します。
暗証番号を設定する：	暗証番号を設定するかしないかを設定します。
暗証番号：	暗証番号を 7 桁までの半角数字で入力します。
確認入力：	暗証番号と同じ番号を入力します。暗証番号と異なる番号を入力した場合は、エラーのダイアログボックスが表示されます。
制限面数：	設定する項目にチェックマークを付け、その部門のコピーやスキャン、プリントに許可する最大面数を半角数字で入力します。

重要

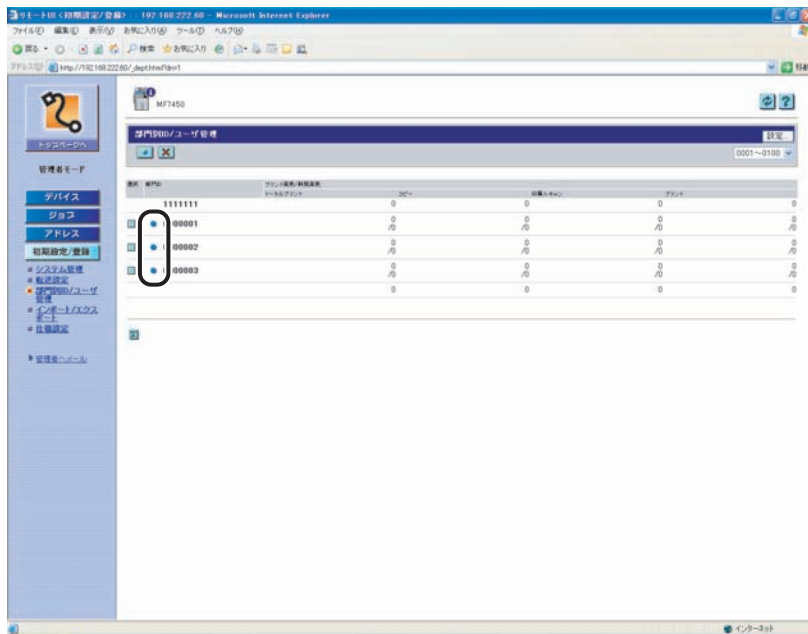
オプションのカードリーダ・E1 装着時は、新規部門の登録はしないでください。

メモ　「トータルプリント」は「コピー」と「プリント」の制限面数の合計です。

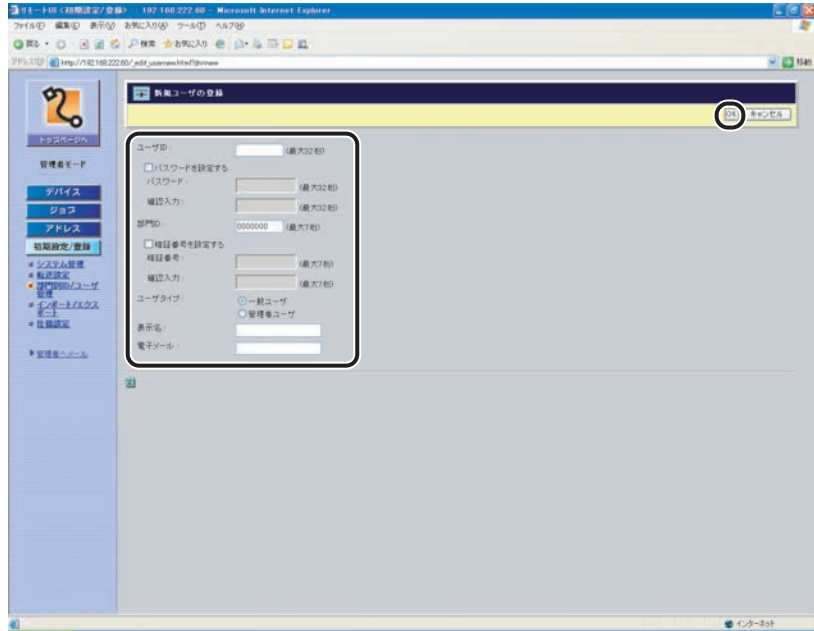
2 部門IDを削除する場合は、削除する部門IDの［□］（選択）→［×］（削除）を順にクリックします。

選択した部門IDが削除されます。

重要　オプションのカードリーダ・E1装着時は、部門の削除はしないでください。

メモ
- ［□］（選択）をクリックすると、部門IDが選択された状態になり、三角マークが付きます。
- 削除した部門IDは元に戻すことはできません。

3 暗証番号と制限面数を変更する場合は、部門 ID の左側の［●］をクリックして表示される［部門の編集］ページで必要な項目を変更したあと、［OK］をクリックします。

メモ　部門のカウントを消去する場合は、［カウントクリア］をクリックします。確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

ユーザの登録や編集をする

1 **ユーザを登録する場合は、[ユーザ管理設定]をクリックして表示される[新規ユーザの登録]ページで必要な項目を設定したあと、[OK]をクリックします。**

[部門別ＩD/ユーザ管理ページ]で[ ]をクリックしても[新規ユーザの登録]ページが表示されます。

表示される項目

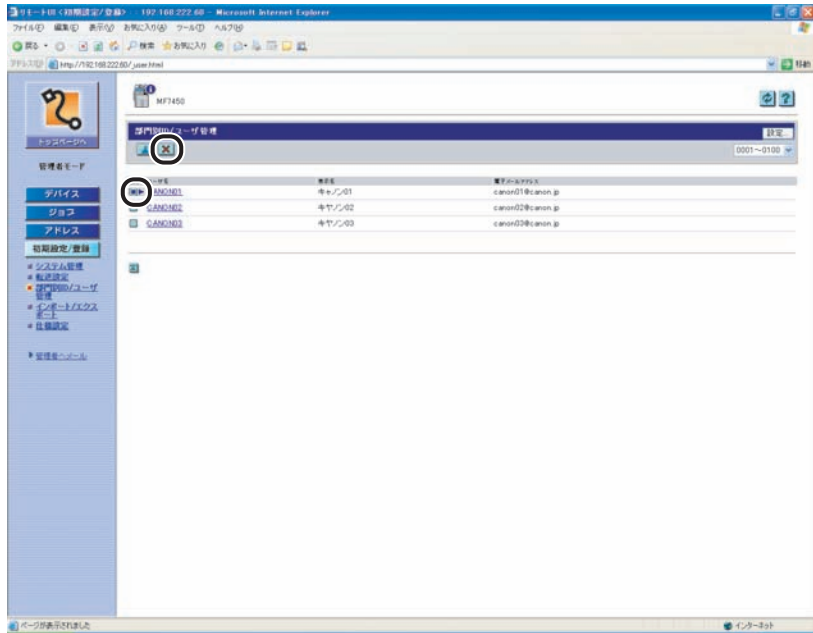
ユーザ ID：	ユーザ ID を半角 32 文字以内の英数字で入力します。
パスワードを設定する：	パスワードを設定するかしないかを設定します。
パスワード：	パスワードを半角 32 文字以内の英数字で入力します。
確認入力：	パスワードと同じ英数字を入力します。
部門 ID：	ユーザが属する部門 ID を 7 桁までの半角数字で入力します。
暗証番号を設定する：	部門 ID の暗証番号を設定するかしないかを設定します。
暗証番号：	部門 ID の暗証番号を 7 桁までの半角数字で入力します。
確認入力：	部門 ID の暗証番号と同じ番号を入力します。暗証番号と異なる番号を入力した場合は、エラーのダイアログボックスが表示されます。
ユーザタイプ：	ユーザタイプを選択します。［一般ユーザ］または［管理者ユーザ］から選択します。［管理者ユーザ］を選択した場合は、管理者モードでログオンできます。
表示名：	半角 32 文字（全角の場合は 16 文字）以内で入力します。
電子メール：	半角 256 文字以内の英数字で入力します。

重要

- オプションのカードリーダ・E1 装着時は、必ずユーザ管理を [OFF] にして使用してください。
- オプションのカードリーダ・E1 装着時は、新規ユーザの登録はしないでください。

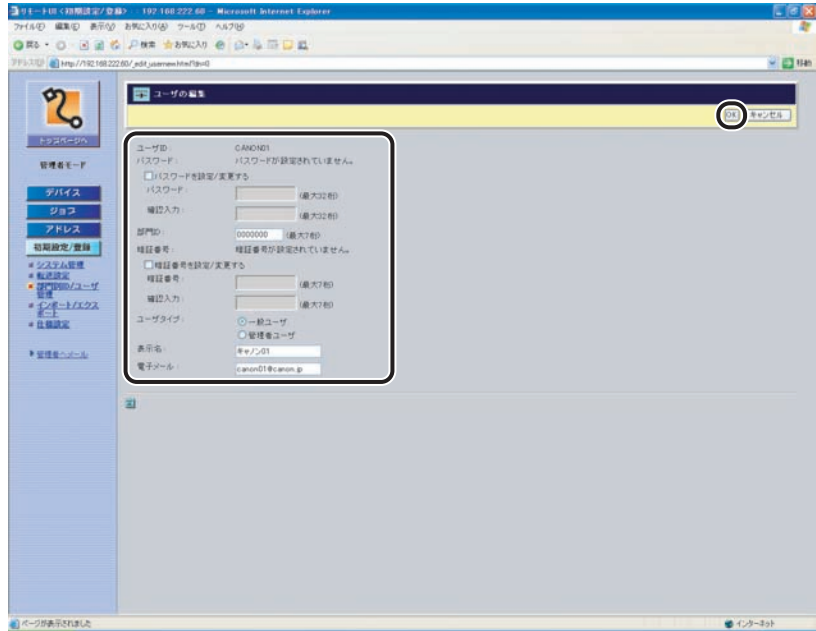
メモ

ユーザ管理が有効になっている場合、電子メール受信側の送信元（From）の欄には、ユーザ略称の代わりにここで登録された表示名と電子メールアドレスが表示されます。

2 ユーザを削除する場合は、削除するユーザの［□］（選択）→［×］（削除）を順にクリックします。

選択したユーザを削除します。

重要 オプションのカードリーダ・E1 装着時は、ユーザの削除はしないでください。

メモ
- ［□］（選択）をクリックすると、ユーザIDが選択された状態になり、三角マークが付きます。
- 削除したユーザ ID は元に戻すことはできません。

3 **ユーザの編集をする場合は、ユーザをクリックして表示される［ユーザの編集］ページで必要な項目を変更したあと、［OK］をクリックします。**

宛先表やデバイスの設定情報をファイルに保存する／ファイルから読み込む

リモート UI では、本製品に登録されている宛先表などの情報をパソコンのファイルに保存したり、ファイルから読み込んで本製品に登録することができます。本製品に登録されている設定情報を別のデバイスで使用するときや、バックアップするときなどに利用します。インポート／エクスポートはデータの交換を目的としたもので、リモート UI のみの機能です。

以下の項目をインポート／エクスポートできます。

- 宛先表
- ユーザ管理データ
- 初期設定 / 登録

注意 インポート／エクスポートは動作が完了するまでに数分かかることがあります。動作が完了するまで、本製品の主電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

重要

- エクスポート中は、動作が完了するまで画面の表示が変わりません。砂時計など、ポインタが処理中の表示の間は、［エクスポート開始］を押さないでください。
- ファイルのインポート／エクスポート中は、本製品の操作パネルは使用できません。
- 本製品がスリープモードの場合は、インポートする前に操作パネルの操作部電源スイッチを押し、スリープモードを解除してください。

メモ

- ［インポート / エクスポート］で［初期設定 / 登録］を選択したときは、本体操作パネルの以下の項目をバックアップ／リストアすることができます。
  - 共通仕様設定
  - タイマー設定（日付 / 時刻はインポート／エクスポートできません。）
  - 調整 / クリーニング
  - レポート出力
  - システム管理設定（部門別 ID 管理のプリント面数、転送設定はインポート／エクスポートできません。）
  - コピー仕様設定
  - 送信 / 受信仕様設定
- 工場出荷時の設定を保存（エクスポート）しておくことをおすすめします。
- インポート／エクスポートは管理者モードでのみ表示されます。

宛先表をファイルに保存する（エクスポート）

宛先表の情報をファイルとしてパソコンに保存できます。

1 ［初期設定 / 登録］をクリックしたあと、表示されるメニューから［インポート / エクスポート］を選択します。

2 ［宛先表］をクリックします。

3 エクスポート開始をクリックします。

4 画面の指示に従って、ファイルの保存場所を指定します。

指定した場所に宛先表が保存されます。

宛先表をファイルから読み込む（インポート）

パソコンに保存したファイルから、宛先表の情報を本製品に読み込むことができます。

重要
- 新しいファイルの内容を登録すると、現在登録されている宛先に新しい宛先表が上書きされます。
- 本機でタイマー送信を設定している場合には、インポートを行わないでください。
- 本製品がスリープモードの場合は、インポートする前に操作パネルの操作部電源スイッチを押し、スリープモードを解除してください。

メモ
宛先表にはワンタッチボタンを含めて最大 500 件*の宛先を登録できます。宛先はそれぞれの情報が 1 件として扱われます。

* この機能は、オプションのネットワークインターフェースボード（Satera MF7450N/MF7350N は標準装備）を有効にした場合に使用することができます。

---

1 **［初期設定 / 登録］をクリックしたあと、表示されるメニューから［インポート / エクスポート］を選択します。**

この手順の画面を確認する場合は、「宛先表をファイルに保存する（エクスポート）」（➞ P.3-25）の手順 1 を参照してください。

［インポート / エクスポート］ページが表示されます。

2 **［宛先表］をクリックします。**

3

使いかたにあわせた設定

3 ［インポート］をクリックします。

4 ［参照］をクリックしてインポートするファイルを選択したあと、［OK］をクリックします。

表示される項目

フォルダへのパス： 読み込むファイルの場所を指定します。

メモ

- インポートの操作は、他のジョブが実行されていない状態で行ってください。
- 本体がスリープモードになっている場合は、必ず本体の操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してください。

3

使いかたにあわせた設定

ユーザ管理データをファイルに保存する（エクスポート）

ユーザ管理データの情報をファイルとしてパソコンに保存できます。

重要　エクスポートされたユーザ管理データは、すべて一般ユーザとなります。

1 **［初期設定 / 登録］をクリックしたあと、表示されるメニューから［インポート / エクスポート］を選択します。**

この手順の画面を確認する場合は、「宛先表をファイルに保存する（エクスポート）」（➞ P.3-25）の手順 1 を参照してください。

2 **［ユーザ管理データ］をクリックします。**

3 **エクスポート開始をクリックします。**

4 **画面の指示に従って、ファイルの保存場所を指定します。**

指定した場所に宛先表が保存されます。

ユーザ管理データをファイルから読み込む（インポート）

パソコンに保存したファイルから、ユーザ管理データの情報を本製品に読み込むことができます。

重要
- インポートされたユーザ管理データは、すべて一般ユーザとして登録されます。
- 本製品がスリープモードの場合は、インポートする前に操作パネルの操作部電源スイッチを押し、スリープモードを解除してください。

---

1 ［初期設定 / 登録］をクリックしたあと、表示されるメニューから［インポート / エクスポート］を選択します。

この手順の画面を確認する場合は、「宛先表をファイルに保存する（エクスポート）」（→ P.3-25）の手順 1 を参照してください。

［インポート / エクスポート］ページが表示されます。

2 ［ユーザ管理データ］をクリックします。

3 ［インポート］をクリックします。

4 ［参照］をクリックしてインポートするファイルを選択したあと、［OK］をクリックします。

表示される項目

フォルダへのパス：　読み込むファイルの場所を指定します。

メモ

- インポートの操作は、他のジョブが実行されていない状態で行ってください。
- 本体がスリープモードになっている場合は、必ず本体の操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してください。

初期設定 / 登録の設定をファイルに保存する（エクスポート）

初期設定 / 登録の設定内容をファイルとしてパソコンに保存できます。

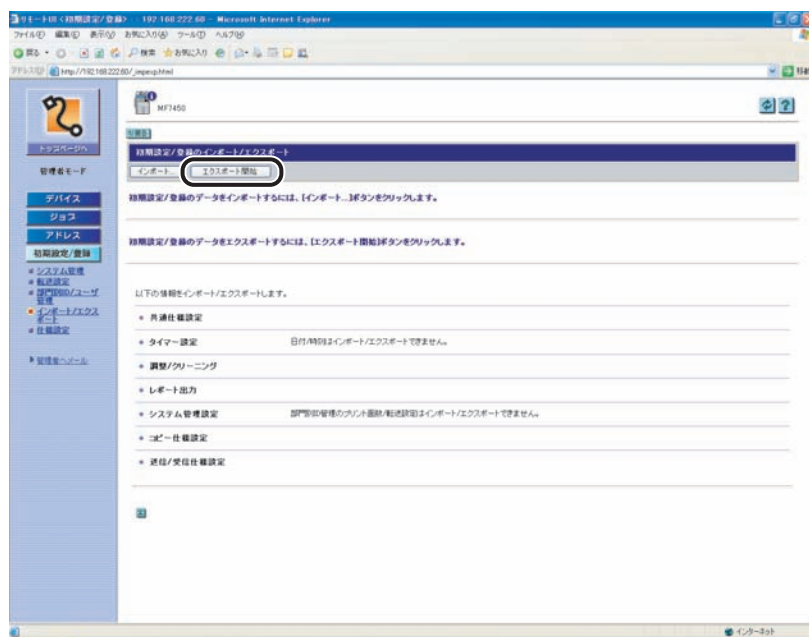
1 **［初期設定 / 登録］をクリックしたあと、表示されるメニューから［インポート / エクスポート］を選択します。**

この手順の画面を確認する場合は、「宛先表をファイルに保存する（エクスポート）」（→ P.3-25）の手順 1 を参照してください。

［インポート / エクスポート］ページが表示されます。

2 **［初期設定 / 登録］をクリックします。**

本製品に登録されている初期設定 / 登録のうち、エクスポートできる項目の一覧が表示されます。

3 **エクスポート開始をクリックします。**

4 **画面の指示に従って、ファイルの保存場所を指定します。**

指定した場所に初期設定 / 登録の設定ファイルが保存されます。

初期設定 / 登録の設定をファイルから読み込む（インポート）

パソコンに保存したファイルから、初期設定 / 登録の設定内容を本製品に読み込むことができます。

重要 本製品がスリープモードの場合は、インポートする前に操作パネルの操作部電源スイッチを押し、スリープモードを解除してください。

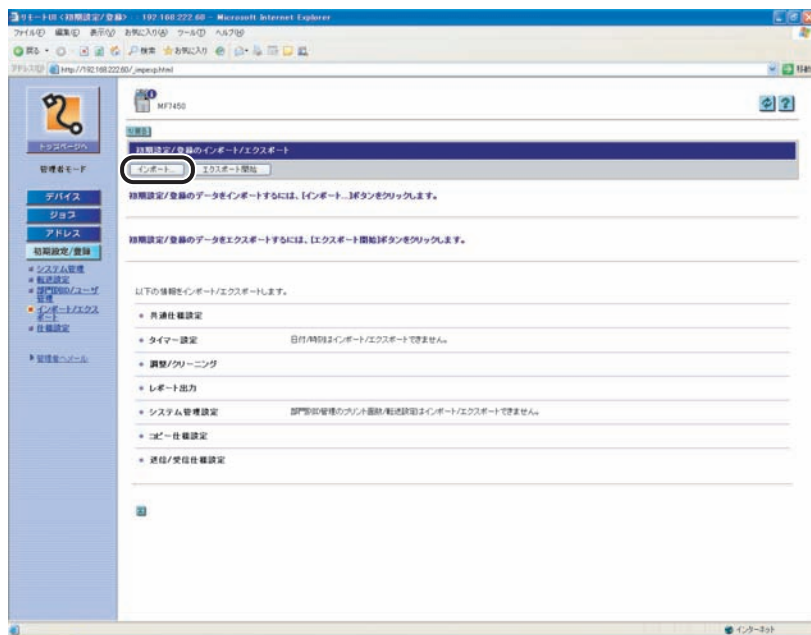
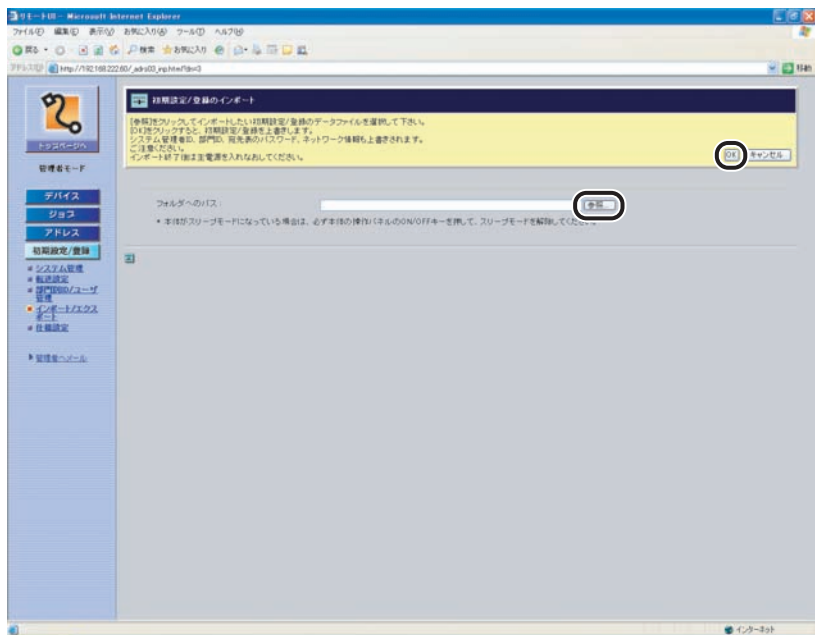
1 ［初期設定 / 登録］をクリックしたあと、表示されるメニューから［インポート / エクスポート］を選択します。

この手順の画面を確認する場合は、「宛先表をファイルに保存する（エクスポート）」（➞ P.3-25）の手順 1 を参照してください。

［インポート / エクスポート］ページが表示されます。

2 ［初期設定 / 登録］をクリックします。

本製品に登録されている初期設定 / 登録のうち、インポートできる項目の一覧が表示されます。

3 ［インポート］をクリックします。

4 ［参照］をクリックしてインポートするファイルを選択したあと、［OK］をクリックします。

重要

- システム管理部門 ID、部門 ID、ネットワーク情報、部門別 ID 管理の制限面数なども上書きされます。
- インポートした初期設定 / 登録の設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあとに有効になります。インポートを実行したあと、一度本製品の主電源を切り、10 秒後に電源を入れなおしてください。
- 初期設定 / 登録のインポート後は、本製品の主電源スイッチを入れなおすまでリモート UI からの操作を行うことができません。一度本製品の主電源を切り、10 秒後に電源を入れなおしたあと、リモート UI を再起動してください。

メモ

- インポートの操作は、他のジョブが実行されていない状態で行ってください。
- 本体がスリープモードになっている場合は、必ず本体の操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してください。

デバイスの仕様設定をする

リモート UI では、デバイスの仕様設定を行うことができます。

リモート UI からデバイスの仕様を設定する方法については、以下の手順に従ってください。

メモ

- リモート UI から行うことができるデバイスの仕様設定は、本体操作パネルの ◎（初期設定 / 登録）から行うことができる操作の一部です。操作パネルから行う方法については、ユーザーズガイド「第 6 章　システム管理設定」を参照してください。
- デバイスの仕様設定の詳しい説明は、設定する機能に合わせて他の取扱説明書を参照してください。
- 本体操作パネルの ◎（初期設定 / 登録）から行うことができる操作のうち、以下のものは他のメニューから行います。

・宛先表仕様設定：　［アドレス］の［宛先表］から設定できます。（➞宛先表の管理をする：P.2-10）

・システム管理設定：

ネットワーク設定：　［デバイス］の［ネットワーク］から設定できます。（➞デバイスの状態や情報を表示する：P.2-2）

システム管理情報の設定：　［初期設定 / 登録］の［システム管理］から設定できます。（➞システム管理の設定をする：P.3-2）

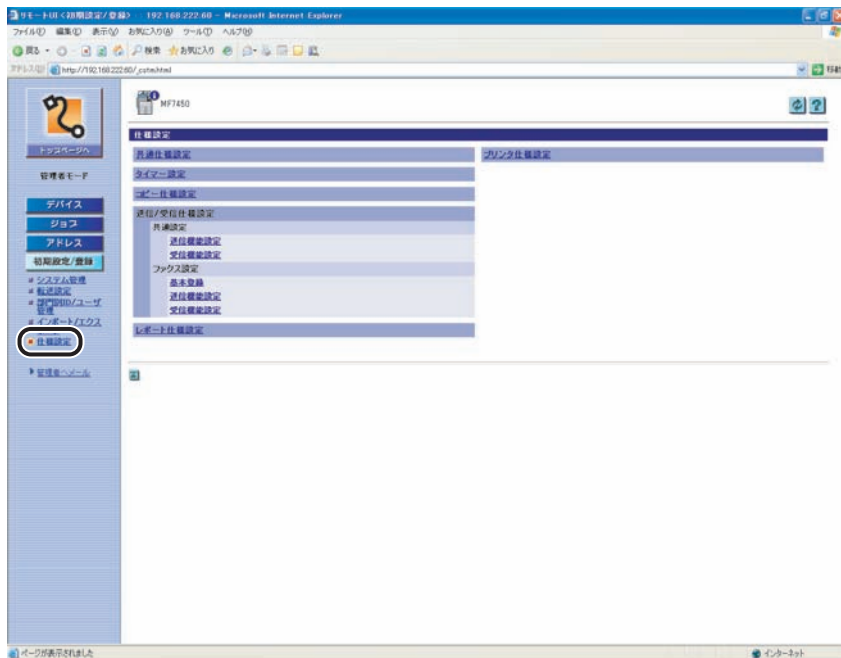
宛先の制限：　［初期設定 / 登録］の［システム管理］から設定できます。（➞システム管理の設定をする：P.3-2）

USB デバイスを使用：　［初期設定 / 登録］の［システム管理］から設定できます。（➞システム管理の設定をする：P.3-2）

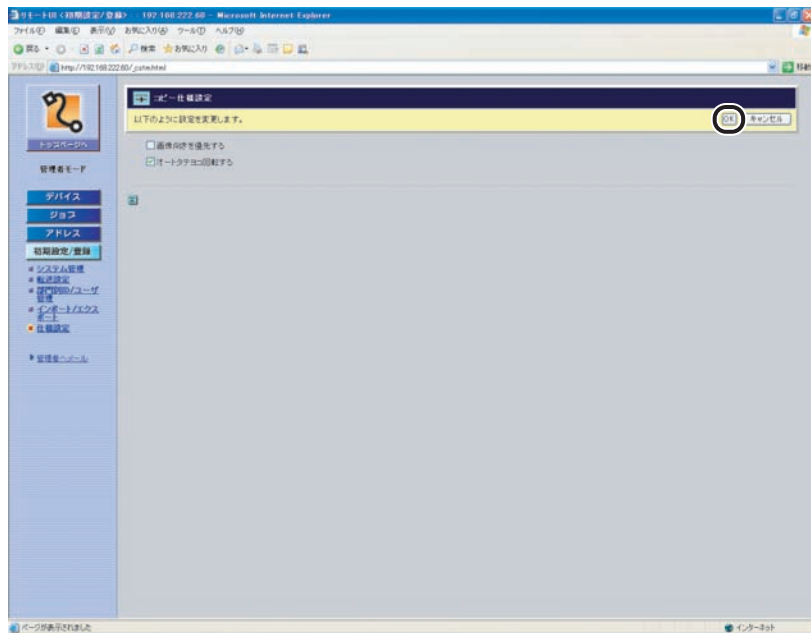
転送設定：　［初期設定 / 登録］の［転送設定］から設定できます。（➞転送の設定をする：P.3-9）

部門別 ID 管理：　［初期設定 / 登録］の［部門別 ID/ ユーザ管理］から設定できます。（➞部門別 ID 管理とユーザ管理をする：P.3-14）

ユーザ管理：　［初期設定 / 登録］の［部門別 ID/ ユーザ管理］から設定できます。（➞部門別 ID 管理とユーザ管理をする：P.3-14）

1 ［初期設定 / 登録］をクリックしたあと、表示されるメニューから［仕様設定］を選択します。

2 設定する項目をクリックします。

選択した項目に応じた設定ページが表示されます。

3 各項目を設定したあと、[OK]をクリックします。

ここではコピー仕様設定を選択しています。

メモ　各項目の説明は、設定する機能に合わせて他の取扱説明書を参照してください。

4

CHAPTER

付録

用語集や索引を記載しています。

用語集

英数字

Cookie

Web サイトにアクセスしたとき、Web サイト側がパソコンに残す情報のことです。

Cookie は、以前表示した Web ページに再度アクセスしたとき、Web サイト側がユーザを識別するために使用します。Cookie を利用すると、アクセスのたびに入力事項を入力する手間を省くことができます。

HTTP

HyperText Transfer Protocol の略。クライアントとサーバとの間で、インターネットを経由し HTML 文書を送受信するのに使われる TCP/IP プロトコルです。

URL

Uniform Resource Locator の略。インターネット上の Web ページなどの場所を表記する方法です。例えば Web ページの URL は「http://www.w3.org/default.html」のように表記されます。先頭の「http」は、あとに続く文字列がインターネット上の Web ページのアドレスであるということを表します。

「www.w3.org」は Web ページの保存されているサーバのアドレス、「default.html」は Web ページのファイル名です。

は

プロキシサーバ

リモートサーバから読み込んだファイルを保存しておく機能を持つサーバのことです。Web ページの閲覧が 2 回目以降のときは、リモートサーバにアクセスするのではなく、プロキシサーバに保存されているファイルを読み込むことによってアクセスの効率化をはかります。プロキシサーバはパソコンから URL を受け取ると、キャッシュからファイルを検索してパソコンに送ります。要求されたファイルがキャッシュに保存されていない場合は、リモートサーバにアクセスして取得します。このとき取得したファイルもキャッシュに保存されるため、再度要求があった場合は、ファイルをパソコンにすばやく送ることができます。

プロトコル

ネットワークを介してデータの受け渡しを行う際の手順の規則です。おもな通信プロトコルは以下のとおりです。

- FTP：ファイル転送プロトコル。TCP/IP ネットワーク上にあるクライアントとホストとの間で、ファイルの転送を行うための通信プロトコル、またはそれを実装したコマンドです。
- DHCP：BOOTP の上位互換規格で、TCP/IP ネットワーク上の各クライアントマシンに対して、起動時に動的な IP アドレスを割り当て、終了時に回収する通信プロトコルです。サーバはクライアント用にいくつか用意した IP アドレスを振り分け、セットアップ情報をクライアントに通知します。
- BOOTP：TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンにおいて、IP アドレスやドメイン名などのセットアップ情報をサーバから自動的にロードしてくるための通信プロトコルです。
- RARP：クライアントのネットワークアダプタアドレス（MAC アドレス）から IP アドレス情報を求めるための通信プロトコルです。
- TCP/IP：インターネットや大規模ネットワークにアクセスするのに必要な、標準的な通信プロトコルです。

ら

リモート UI

Netscape Navigator や Microsoft Internet Explorer などの Web ブラウザを使って、パソコンからネットワークを経由して本製品にアクセスし、本体の状況の確認やジョブの操作、各種設定など、本体操作パネルと同等の操作を行うためのソフトウェアです。

索引

は

ら

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）

050-555-90024

[受付時間]　〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

USRM1-2223-00